

## 第Ⅷ章

# 年誌・医師会データ

## 年誌

令和4年4月～令和5年3月

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項   |
|---|---|
| <p>令和4年4月</p> <p>4月4日 日本医師会シンポジウム「子どもたちの『いま』に寄り添う」を無観客で収録。中川俊男会長は、子ども達を取り巻く現状や課題について触れ、「解決に向けて一緒に取り組んでもらいたい」と呼び掛ける。</p> <p>4月6日 定例記者会見</p> <p>(1) ウクライナへの医療支援について、ウクライナへの医療支援のための寄附金を用いて、医薬品・医療物質がウクライナのリビウに届けられたことを報告（中川会長）。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の現況について、第7波を招かないためには、引き続き緊張感をもって感染対策を続けることが大切だと述べる（中川会長）。</p> <p>(3) 公衆衛生委員会答申「新時代における医療・健（検）診のあり方」まとまる。羽鳥裕常任理事は、4月1日に久米川啓委員長（香川県医師会会長）より中川会長に手交したことを報告。</p> <p>(4) 医師の働き方改革の進捗状況について、医師独自の宿日直許可基準の策定を求める要望書を後藤茂之厚生労働大臣に提出したことなどを説明（松本吉郎常任理事）。</p> <p>(5) ウクライナ避難民支援及び令和2年・3年度外国人医療対策委員会報告書について、医療通訳サービスに、ウクライナ語を含む19言語対応としたことを報告。</p> <p>4月7～9日 2022年世界医師会（WMA）パリ理事会をハイブリッド形式で開催。ロシアの侵攻に直面するウクライナの医療従事者と国民の支援に関する決議を採択。日本医師会からは、WMA理事の中川会長、WMA理事会副議長である松原謙二副会長がオンラインで、橋本省常任理事が現地で出席。</p> <p>4月10日 令和4年度学校保健講習会をWEB会議で開催。「児童・生徒をとりまく課題」をテーマに情報共有を図る。539名が聴講。</p> <p>4月12日 全国知事会社会保障常任委員会と日</p> | <p>令和4年4月</p> <p>4月11日 厚生労働省は、2022年度診療報酬改定に関する「疑義解釈資料（その3）」を地方厚生局などに事務連絡。「地域包括診療加算」の対象疾患追加などの疑義解釈で事務連絡。</p> <p>4月13日 診療報酬調査専門組織の入院・外来医療等の調査・評価分科会は、2022年10月に診療報酬を改定して行う看護の処遇改善についての議論をスタート。</p> <p>4月13日 財務省は財政制度等審議会財政制度分科会に提出した資料で、薬剤費適正化をさらに推進するための「既存医薬品の保険給付範囲の見直しを加速化・徹底すべきである」との考えを示す。また、財務省は同会議にかかりつけ医の認定制や事前登録制の導入を提言。</p> <p>4月13日 厚労省は、2022年度診療報酬改定に関する「疑義解釈資料（その4）」を地方厚生局などに事務連絡。「外来感染対策向上加算」等で実績不要の項目を明示。</p> <p>4月15日 日本医療機能評価機構は、「医療安全情報 No.185」で、使用済み内視鏡の別の患者への使用について、6年間で9件報告と注意を呼び掛け。使用済み内視鏡を所定の場所に置かなかったことが原因によるもの。</p> <p>4月19日 厚労省は、武田薬品工業が申請していた組換えタンパクワクチンを抗原とする新型コロナウイルス感染症ワクチン「ヌバキソビッド筋注」を薬事承認。</p> <p>4月22日 厚労省は、2022年度における「データ提出加算」の取り扱いについて、地方厚生局に事務連絡した。新規で加算の届出をする場合のDPC試行データの提出期限や手続きについて、詳しく指示。</p> <p>4月22日 厚労省は、地方厚生局などに事務連絡した2022年度診療報酬改定の「疑義解釈資料（その6）」で、「感染対策向上加算3」の算定期間や湿布薬の枚数上限などについての考え方を示す。</p> |

| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項   |
|--|---|
| <p>本医師会との意見交換会を WEB 会議で開催。<br/>ポストコロナを見据えた平時の医療提供体制の整備について、地域の実情を踏まえた医療提供体制の構築などについて話し合う。</p> <p>4 月 15 日 第 43 回産業保健活動推進全国会議を WEB 会議システムを用いて開催。テーマは医療機関における働き方改革をテーマとしたシンポジウムで、中川会長は「医療機関の働き方改革は、より多くの産業医に知ってほしい重要事項」であると述べる。</p> <p>4 月 18 日 医師会共同利用施設検討委員会は、会長諮問「医師会共同利用施設の今後のあり方—新型コロナウイルス感染症も踏まえて—」について報告書を取りまとめ、金井忠男委員長（埼玉県医師会長）から中川会長に提出。</p> <p>4 月 19 日 母子保健検討委員会は、会長諮問「子どもを産み育てやすい社会の実現に向けて医師会はどう関わるべきか～成育基本法をもとに～」について報告書をまとめ、福田稔委員長（熊本県医師会長）から中川会長に提出。</p> <p>4 月 20 日 定例記者会見<br/>令和 2・3 年度医療政策会議報告書「新しい時代に社会保障と経済はどう変わるのか」まとまる。権丈善一議長（慶應義塾大学商学部教授）から、長島公之常任理事が臨席のもと、中川会長に手交されたことを報告（松本常任理事）。内容は、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックなどについて触れられている。</p> <p>4 月 21 日 地域包括ケア推進委員会は会長諮問「自立支援と重度化防止の視点を踏まえた地域包括ケアシステムの構築に向けて～新興感染症下の地域づくりにおける『かかりつけ医』への期待」の答申書をまとめ、池端幸彦委員長（福井県医師会長）から中川会長に提出。</p> <p>4 月 21 日 埼玉県医師会で、全国初の「日本医師会 Web 研修システム」を用いた産業医研修会を開催。参加者は 198 名。</p> <p>4 月 22 日 中川会長は、今村聡副会長と共に総</p> | <p>4 月 25 日 厚労省の「第 4 期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」は、新たに「健康増進に係る科学的な知見を踏まえた技術的事項に関するワーキンググループ」を設置することを了承。</p> <p>4 月 25 日 厚労省は、欧米で報告が相次いでいる「小児の原因不明の急性肝炎」の疑い例が国内で 1 例確認されたと発表。</p> <p>4 月 27 日 中央社会保険医療協議会総会を開催し、看護の処遇改善で特別調査の実施を正式に了承。診療報酬での制度設計を行う際の技術的課題の検討資料として活用する。</p> <p>4 月 27 日 厚労省は、2020 年の「医療施設（静態・動態）調査（確定数）・病院報告の概況」を公表。病院、一般診療所の医療室数と病床数はともに前年から減少。病院の一日平均外来患者数は前年比で約 1 割の大幅な減少となった。</p> <p>4 月 28 日 健康保険組合連合会は、「2022 年度健康保険組合の予算早期集計結果」を公表し、経常収支は 2770 億円の赤字となることがわかった。</p> <p>4 月 28 日 厚労省は、2022 年度診療報酬改定の「疑義解釈資料（その 7）」を地方厚生局などに発出。「電子的保健医療情報活用加算」や「短期滞在手術等基本料 1」などで疑義解釈を示す。</p> |

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項 |
|---|---------------|
| <p>理官邸を訪れ、日本医師会のかかりつけ医に関する考えとして取りまとめた「国民の信頼に応えるかかりつけ医として」を、岸田文雄内閣総理大臣に手交し、内容を説明。</p> <p>4月23日 第16回男女共同参画フォーラムを、「医療人を育む一歩から～医師の多様な働き方について～」をテーマに大分市内で開催。日本医師会から中川会長、今村聡副会長、神村裕子常任理事が出席。中川会長は、本フォーラムが医師の多様な働き方を支援し、誰もがいきいきと働き続けられる医療界をつくる一助となるよう期待を寄せた。</p> <p>4月27日 定例記者会見</p> <p>(1)「国民の信頼に応えるかかりつけ医として」をまとめ、公表。「かかりつけ医機能を果たしていく医師の覚悟を示したもの」と述べる(中川会長)。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策への日本医師会の取り組みとして中間報告(2020年7月～2022年4月)を公表。会長が87回、常勤役員を含めると136回の定例記者会見を実施し、検査体制、医療提供体制を説明してきたと報告(釜范敏常任理事)。</p> <p>(3) 小児在宅ケア検討委員会答申「医療的ケア児のライフステージに応じた適切な医療・福祉サービスの提供について」まとまる。田村正徳委員長(埼玉医科大学総合医療センター名誉教授)から中川会長に提出したことを報告(松本常任理事)。</p> <p>(4)「オンライン診療入門～導入の手引き～」を公表。「オンライン診療は対面診療と適切に組み合わせて行うことで、患者の安全性と利便性の両方を向上させることができる」と話す(長島常任理事)。</p> <p>4月27日 2020・2021年度病院委員会審議報告「新型コロナウイルス感染症の流行下における医療提供体制と病院の役割」まとまる。提言として、情報の標準化とその共有及び柔軟な活用</p> |               |

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項 |
|---|---------------|
| <p>を行う体制の整備、その前提としてのマイナンバーカードの活用などについて触れていることを報告（橋本常任理事）。</p> |               |

| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項  |
|--|--|
| <p>5月</p> <p>5月6日 地域医療対策委員会が、会長諮問「新型コロナウイルス感染症時代における地域医療構想について」を受けて、報告書をまとめ、中目千之委員長（山形県医師会長）から中川俊男会長に提出。</p> <p>5月10日 「2023（令和5）年度政府概算要求に対する日本医師会要望の説明会」を厚生労働省とのWEB会議で行う。新型コロナや働き方改革への予算確保など4項目について要望。</p> <p>5月11日 第1回オンライン資格確認推進協議会をWEB会議システムで開催。オンライン資格確認の推進を目指して初会合。</p> <p>5月12日 第10回「日本医師会赤ひげ大賞」表彰式が秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席の下、岸田文雄内閣総理大臣、佐藤英道厚労副大臣を来賓に迎えて都内で開催される。地域医療に尽力する5名の大賞受賞者と13名の功労賞受賞者を顕彰。</p> <p>5月18日 医業税制検討委員会は、会長諮問「医業経営安定化のためにあるべき税制について」を受け、答申をまとめ、緑川正博委員長（日本医師会参与）から中川会長に提出。</p> <p>5月23日 医療IT委員会は、会長諮問「国民と医療の現場に役立つIT化とは何か」について答申をまとめ、塚田篤郎委員長（茨城県医師会副会長）から中川会長に提出。</p> <p>5月27日 令和4年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会がテレビ会議システムで開催される。「コロナ禍での勤務医の働く環境課題の整理と、今後のポストコロナ・ウィズコロナ時代を見据えた勤務医の働き方改革」などをテーマに討議が行われる。</p> <p>5月31日 日本医師会は、第6回常任理事会で、事務局組織の改編を行い、7月1日付で健康医療第一課内に「医師の働き方改革推進室」を設置。</p> | <p>5月</p> <p>5月11日 厚生労働省の「地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループ」は、「医師確保計画策定ガイドライン」の改正に向けた議論を開始、年内に取りまとめる予定となっている。</p> <p>5月13日 厚労省は、2022年度診療報酬改定に関する「疑義解釈資料（その8）」を地方厚生局などに事務連絡。「看護補助体制充実加算」と既存加算との関係を整理。</p> <p>5月16日 社会保障審議会介護保険部会は、次期介護保険制度改正に関する本格的な議論に入った。厚労省は、当面の論点として、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進、介護人材の確保、介護現場の生産性向上の推進などを提示し、おおむね了承される。</p> <p>5月16日 日本医療機能評価機構は、「医療安全情報No.186」で、血液検査値の確認忘れで中止すべき抗がん剤治療を実施した事例を紹介し、注意を促す。</p> <p>5月17日 政府の全世代型社会保障構築会議は、議論の中間整理を公表。かかりつけ医機能発揮のための制度整備などを提言。</p> <p>5月19日 厚労省は、診療報酬調査専門組織入院・外来医療等の調査・評価分科会に、看護の処遇改善で対象病院の現状分析データを提示。</p> <p>5月20日 中川俊男会長は、第3回新型コロナウイルス感染症対応に関する有識者会議ヒアリングに招かれ、日本医師会のコロナ対応に関する取り組みと今後の課題等を説明。日本医師会は、コロナ医療とコロナ以外の通常医療の両立を守り、政府の方針に全面的に協力してきたなどと説明。</p> <p>5月25日 厚労省は、社会保障審議会医療保険部会に、医療機関や薬局における「オンライン資格確認等システム」の導入を2023年4月から原則義務化する案を提示。保険者・医療関係者で義務化の支持と反対で意見が分かれる。</p> |

| 医師会関係事項 | その他の医療関係・一般事項   |
|---------|---|
|         | <p>5月25日 財務省財政制度等審議会は、春の建議「歴史の転換点における財政運営」を公表。<br/>かかりつけ医の認定制や事前登録制などを提言。</p> <p>5月27日 政府の規制改革推進会議は、規制改革推進に関する答申を公表。オンライン診療の受診場所の制約緩和や特別養護老人ホームの医療サービス改善などを盛り込む。</p> <p>5月31日 政府は経済財政諮問会議に「経済財政運営と改革の基本方針2022（骨太の方針2022）」の原案を示す。医療分野では、かかりつけ医機能発揮のための制度整備などを明記。</p> |



| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項  |
|--|--|
| <p>6月</p> <p>6月1日 日本医師会は、財務省財政制度等審議会がまとめた春の建議「歴史の転換点における財政運営」に対する見解を公表。「かかりつけ医の法制化」「給付費の伸びと経済成長率の整合性」など合計4点を大きな問題と指摘。</p> <p>6月3日 日本医師会は、中川俊男会長名で松野博一内閣官房長官宛てに、ウクライナからの避難民に対する医療等の支援に関する要望書をまとめ、今村聡副会長が木原誠二内閣官房副長官のもとを訪れて手交した。</p> <p>6月7～8日 世界医師会（WMA）「医の国際倫理綱領（ICoME）」アジア地域会議がバンコク（タイ）で開催され、日本医師会から橋本省常任理事が出席。参加者は15か国（日本、バングラデシュ、フランス、ドイツなど）から45名だった。</p> <p>6月15日 羽鳥裕常任理事は、日本医師会の運動・健康スポーツ医学委員会の津下一代委員長（女子栄養大学特任教授）と共にスポーツ庁を訪れ、室伏広治長官に、「運動・健康スポーツ施策に関する提言書」と「健康スポーツ医学実践ガイド多職種連携のすゝめ」を贈呈。</p> <p>6月15日 定例記者会見<br/>「経済財政運営と改革の基本方針2022（骨太の方針2022）」等の閣議決定を受けて、9項目に対する日本医師会の見解を説明。令和5年度予算編成に向けた考え方では、重要な政策の選択肢をせばめることがあってはならないなどと述べた（中川会長）。</p> <p>6月16日 中川会長は、日本記者クラブで、「最近の医療情勢とその課題」と題し、日本医師会の取り組みを説明。「ウクライナへの医療支援」「新型コロナウイルス感染症対策」「かかりつけ医」に関する日本医師会の取り組みや考えを説明。</p> <p>6月25日 第151回日本医師会定例代議員会を開催。役員選挙が行われ、会長選挙では松本吉</p> | <p>6月</p> <p>6月1日 中央社会保険医療協議会診療報酬基本問題小委員会は、看護の処遇改善の検討状況について、診療報酬調査専門組織（入院・外来医療等の調査・評価分科会）から報告を受け、各側委員は、より踏み込んだ議論をするため、厚生労働省に対して、点数化した場合のシミュレーションの実施を要請。</p> <p>6月1日 厚労省は、2022年度診療報酬改定の「疑義解釈資料（その10）」を地方厚生局などに事務連絡。「摂食嚥下機能回復体制加算」の届出は保険医療機関単位とすることなどを示す。</p> <p>6月3日 厚労省が社会保障審議会医療部に報告した「医師の働き方改革の施行に向けた準備状況調査」の結果によると、副業・兼業先を含む時間外労働の把握は約4割にとどまることがわかった。</p> <p>6月7日 政府は、「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針2022）」を閣議決定。かかりつけ医機能を発揮するための制度整備や、医療機関・薬局へのオンライン資格確認の原則義務化などを明記。</p> <p>6月10日 厚労省は、診療報酬調査専門組織（入院・外来医療等の調査・評価分科会）に、看護の処遇改善の点数設定のシミュレーション結果を報告。</p> <p>6月15日 厚労省の第8次医療計画等に関する検討会は、「外来医療計画」の策定ガイドライン見直しに向けた議論を開始。</p> <p>6月15日 中医協総会は、看護の処遇改善について、賃上げルールなどの制度設計について議論。また、「令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」の実施を了承。</p> <p>6月16日 厚労省の「地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループ」は、医師確保計画における「医師少数スポット」や「目標医師数」について議論。</p> <p>6月16日 2021年度の病床機能報告の集計結果</p> |



| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項   |
|--|---|
| <p>郎氏が選挙戦を制し、第21代日本医師会会長に就任。副会長も選挙戦となり、茂松茂人氏、猪口雄二氏、角田徹氏が就任。常任理事は、当初、定数を超える立候補があったものの1名が辞退し、選挙は行われず、松本会長の推薦者が選出される。</p> <p>6月26日 第152回日本医師会臨時代議員会を開催。「令和5年度日本医師会会費賦課徴収の件」を賛成多数で可決し、各ブロックからの代表質問に対して、執行部が回答。</p> <p>6月29日 定例記者会見</p> <p>(1) 松本会長は、新執行部の職務分担を公表。「組織強化」については釜范敏常任理事が担当。</p> <p>(2) 梅雨明けを踏まえた熱中症とマスクについて、猛暑が続いていることを踏まえ、マスクを外して過ごせる条件について説明し、適切な着用を求める(釜范常任理事)。</p> | <p>によると、2021年の総病床数は121.0万床となり、2015年と比べると約4.1万床減ったことがわかった。</p> <p>6月17日 政府は、首相官邸新型コロナウイルス感染症対策本部を開き、「内閣感染症危機管理庁」の設置や「日本版CDC」の創設などを盛り込んだ「次の感染症危機に備えるための対応の方向性」を決定。</p> <p>6月22日 厚労省は「令和3年社会医療診療行為別統計」の結果を公表。レセプト件数は新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた前回調査から約17%増加。1件当たり点数の前年比も入院は2.0%増、入院外は0.7%増となった。</p> <p>6月22日 厚労省は、2022年度診療報酬改定の「疑義解釈資料(その14)」を地方厚生局などに事務連絡。「医師事務作業補助体制加算1」の「3年以上の勤務経験」の考え方を整理。</p> <p>6月22日 薬事・食品衛生審議会薬事分科会は、塩野義製薬のCOVID-19治療薬ゾコーバについて、「さらに慎重に議論を重ねる必要がある」として緊急承認の判断を見送り。</p> <p>6月27日 日本医療機能評価機構が公表した医療事故情報収集等事業の第69回報告書によると、2022年1～3月に1348件の医療事故の報告があり、このうち死亡例は106件であることがわかった。</p> <p>6月28日 厚労省は、吉田学事務次官が辞職し、新たに大島一博政策統括官(総合政策担当)を事務次官に充てる人事を発表。</p> <p>6月29日 厚労省は、2022年度診療報酬改定の「疑義解釈資料(その15)」を地方厚生局などに送付。このなかで、「外来感染対策向上加算」などの施設基準で求められるカンファレンスの参加について考え方を整理した。</p> <p>6月30日 厚労省は「令和2年(2020)患者調査(確定数)の概況」を公表。推計患者数は、入院が121万1300人、外来患者数は713万7500人。なお、本調査はコロナ禍で実施され</p> |

| 医師会関係事項 | その他の医療関係・一般事項                    |
|---------|----------------------------------|
|         | <p>たなどの理由から、解釈や活用に注意が必要とされる。</p> |

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項   |
|---|---|
| <p>7月</p> <p>7月9日 安倍晋三元内閣総理大臣が選挙演説中に銃で撃たれ、搬送先の奈良県立医大病院で7月8日に死亡した事件を受け、松本会長は「突然の訃報に接し、深い悲しみを覚えている」とのコメントを発表。</p> <p>7月11日 松本会長は、山際大志郎新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣と会談。新型コロナウイルス感染症に対して、政府と日医が協力して対応していくことを確認。</p> <p>7月11日 松本会長は、後藤茂之厚生労働大臣と会談。新型コロナウイルス感染症に対して、政府と日医が協力して対応していくことを確認。</p> <p>7月13日 定例記者会見</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の感染状況を受けて、「感染力がより強いBA.5の拡大が進んでおり、医療提供体制への影響も注視していく必要がある」などと述べる(松本会長)。</p> <p>(2) 安倍晋三元内閣総理大臣が参議院議員選挙の応援演説中に凶弾に倒れ、逝去されたことを受けて、哀悼の意を表す。「今回のような蛮行は決して許されるべきものではない」と述べる(松本会長)。</p> <p>(3) 医療従事者の安全を確保するための対策について、取りまとめが行われる。医療従事者の危険察知力醸成のため、研修会等が必要であるなどの対策案が示される(城守国斗常任理事)。</p> <p>7月13日 日本医師連盟の松本吉郎常任執行委員は、第26回参議院議員選挙の結果を受け記者会見し、組織内候補の自見英子(はなこ)氏が21万3369票を獲得して当選したことに、組織の力をしっかりと示すことができたと述べる。</p> <p>7月15日 松本吉郎会長は、茂松茂人・角田徹・猪口雄二各副会長と共に総理官邸を訪れ、岸田文雄内閣総理大臣と初会談を行う。政府と日本医師会が協力して、コロナ対応に取り組んでいくことを確認。</p> <p>7月22日 松本会長は、岸田文雄内閣総理大臣</p> | <p>7月</p> <p>7月1日 全国健康保険協会(協会けんぽ)は、「2021年度決算見込み(医療分)」を公表。単年度収支差は2991億円の黒字となり、黒字額は新型コロナ感染拡大の受診控えの影響などで過去最大となった前年度から3192億円減少。</p> <p>7月4日 KDDIの通信障害を受けて、厚生労働省は、医療施設等に通信障害発生時の通信手段の確保を求める事務連絡を都道府県に送付。</p> <p>7月5日 社会保障審議会介護給付費分科会が持ち回りで開催され、見守り機器等の効果の検証を行うなど、次期介護報酬改定に向けたエビデンスを収集。</p> <p>7月8日 元内閣総理大臣の安倍晋三氏が奈良県奈良市で選挙演説中に銃撃され死亡。</p> <p>7月10日 第26回参議院議員選挙の投開票が行われ、日本医師連盟推薦で立候補していた自見はなこ氏は21万3369票を獲得して再選を果たす。</p> <p>7月13日 厚労省は、2022年度診療報酬改定に関する「疑義解釈資料(その18)」を地方厚生局などに事務連絡。</p> <p>7月14日 社会保障審議会介護給付費分科会の介護事業経営調査委員会は、2022年度の介護従事者処遇状況等調査の実施案を大筋で了承。</p> <p>7月20日 診療報酬調査専門組織(入院・外来医療等の調査・評価分科会)は、2022年度診療報酬改定の影響を検証する調査の実施案を了承。診療報酬で対応する看護の処遇改善については、処遇改善必要額が点数上限を超える施設の取り扱いが課題に。</p> <p>7月20日 厚労省の第8次医療計画等に関する検討会は、かかりつけ医機能に関する議論を開始。関係者へのヒアリング、課題の洗い出しなどを行う予定となっている。</p> <p>7月20日 中央社会保険医療協議会総会は2023年度の間年薬価改定の基礎資料を得るための薬価調査の実施案を了承。</p> |

| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項   |
|--|---|
| <p>の要請に応じて、総理官邸を急ぎょ訪問し、会談を行う。岸田総理は、発熱の症状がある人に発熱外来での受診に代えて抗原定性検査キットによる自主検査を受けられる態勢を構築する意向を説明し、松本会長は最大限協力する意向を伝える。</p> <p>7月27日 定例記者会見<br/>松本会長、新型コロナの感染急拡大を受けて、オールジャパンでの対応の必要性を強調。</p> <p>7月28日 新型コロナウイルス感染症に関する全国知事会と日本医師会との意見交換会がWEB会議により開催される。両団体が引き続き協力していくことを確認。</p> <p>7月29日 松本会長は猪口雄二副会長、釜苞敏常任理事と共に厚労省を訪れ、物価高騰への支援の拡充に関する要望を後藤厚労大臣に提出。</p> | <p>7月20日 薬事・食品衛生審議会薬事分科会は、医薬品第二部会との合同会議を開き、塩野義製薬のCOVID-19治療薬ゾコーバについて、有効性の推定判断ができないとして、継続審議とすることを決めた。</p> <p>7月25日 厚労省は、欧州や北米を中心に感染が広がっているサル痘について国内初の患者が確認されたと発表。7月28日には2例目の患者が確認されたと発表。</p> <p>7月26日 厚労省は2022年度診療報酬改定に関する「疑義解釈資料（その19）」で「外来腫瘍化学療法診療料」の施設基準の経過措置について、診療所における取り扱いを示す。</p> <p>7月27日 後藤茂之厚労大臣は、中医協総会に、看護の処遇改善が柱の2022年10月の診療報酬改定について諮問した。入院料のみに細分化された点数を上乗せする案が有力とされている。</p> <p>7月29日 政府は閣議で、「令和5年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」を了解。社会保障費は5600億円の自然増を見込む。</p> <p>7月29日 厚労省は、「令和3年簡易生命表」を公表。日本人の平均寿命は、男性81.47年、女性87.57年となり、前年と比べて男性は0.09年、女性は0.14年短縮した。新型コロナウイルス感染症の流行が影響した。</p> |

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項   |
|---|---|
| <p>8月</p> <p>8月2日 松本吉郎会長は、釜范敏常任理事、平井伸治全国知事会長と共に厚生労働省を訪れ、日本医師会と全国知事会で取りまとめた新型コロナウイルス感染症の感染者の全数把握に代わる事務負担の少ない仕組みへの変更を、後藤茂之厚労大臣に申し入れ。</p> <p>8月4日 釜范常任理は、厚労省を訪問し、「地域医療を支える看護職の養成に関する要望書」を厚労省医政局長に提出。医師会立等看護師等養成所の財政的支援などを要望。</p> <p>8月7日 日医かかりつけ医機能研修制度令和4年度応用研究会を「日本医師会 Web 研修システム」を用いて開催。かかりつけ医機能の更なる充実・向上に向けて実施されたもの。</p> <p>8月10日 定例記者会見<br/>「看護の処遇改善」として、「看護職員処遇改善評価料」が新設されたことについて、現時点で考え得る最適解と述べる（長島公之常任理事）。</p> <p>8月10～12日 今村英仁常任理事は、ワシントン D.C.（アメリカ）で開催された世界医師会（WMA）「医の国際倫理綱領」改訂最終専門家会議に出席。全体の参加者は13か国（日本、アメリカ、バングラデシュ、デンマークなど）から約50名。</p> <p>8月19日 松本会長は、茂松茂人・角田徹・猪口雄二各副会長と共に厚生労働省を訪れ、加藤勝信厚労大臣に「今般の感染拡大を踏まえた今後の対応に関する要望書」を提出。発熱外来対応可能な医療機関数の拡充のための支援などを要望。</p> <p>8月23日 定例記者会見<br/>（1）新型コロナウイルス感染症の感染状況を受けて、第7波は全国的に上昇または高止まりしているなか、全国の医療機関は全力で患者への医療提供に取り組んでいると報告（松本会長）。<br/>（2）「令和5年度医療に関する税制要望」を取りまとめ、「認定医療法人制度の延長及び拡充」「医療用機器等の特別償却制度の延長及び改善」</p> | <p>8月</p> <p>8月1日 厚生労働省は、がん診療連携拠点病院等の整備指針を改定し、都道府県知事に通知。指定要件を満たせなくなった病院が対象の「特例型」を新設すること、「高度型」は廃止することなどが見直しの内容。</p> <p>8月2日 日本感染症学会、日本救急医学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本臨床救急医学会の4学会は、新型コロナに感染して症状が軽い場合は医療機関を受診せずに自宅療養を続けるよう国民に呼びかける声明を発表。</p> <p>8月2日 厚労省は、KM バイオロジクスの乾燥細胞培養痘そうワクチンにサル痘予防の効能を追加することを正式に承認。</p> <p>8月10日 中央社会保険医療協議会総会がWEB会議で開催され、「看護の処遇改善」「医療DXへの対応」に関する答申を取りまとめ、後藤茂之厚労大臣に提出。「看護職員処遇改善評価料」は165種類の区分を設け、最上位区分は340円に設定。</p> <p>8月10日 岸田文雄内閣総理大臣は内閣改造を行い、第二次岸田改造内閣が発足。厚生労働大臣には加藤勝信氏が就任。</p> <p>8月12日 政府は臨時閣議で、第二次岸田改造内閣の副大臣、大臣政務官の人事を決定。日本医師連盟推薦の羽生田俊参議院議員が厚労副大臣に、自見はなこ参議院議員が内閣府大臣政務官にそれぞれ就任。</p> <p>8月17日 社会保障審議会医療部会は、オンライン診療について、通所介護事業所や公民館などでも受けられるようにする規制緩和について議論。</p> <p>8月17日 厚労省が社会保障審議会医療部会に報告した「医師の働き方改革の施行に向けた準備状況調査」の結果によると、時間外労働などが年1860時間超の大学病院勤務医は2.4%。</p> <p>8月19日 厚労省は社会保障審議会医療保険部会に、行政と審査支払機関で組織する「オンラ</p> |



| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項   |
|---|---|
| <p>等の実現を求める（宮川政昭常任理事時）。</p> <p>8月23日 仲本光一岩手県奥州保健所長を講師とした講習会を日本医師会館小講堂で開催。仲本所長は6か国の在外公館の医務官などを務めた経験を基に、「テロの被害を最小限度にとどめるために」をテーマとして講演。「爆発音、銃撃音を聞いた際には直ちに伏せる」などの対処法を概説。</p> <p>8月23日 日本医師会は令和4年度第6回理事会で、令和5年3月末をもって治験促進センター業務を廃止するまでの業務整理スケジュールを了承。</p> <p>8月25日 松本会長は、茂松・角田・猪口各副会長、釜菴常任理事と共に総理官邸を訪れ、松野博一内閣官房長官と会談を行う。新型コロナウイルス感染症の感染状況について、都市部では落ち着いてきているが、地方で高止まりが続いていることを懸念。</p> <p>8月26日 日本医師会・韓国医師会・インド医師会・台湾医師会共催により、「新しい時代における全人的医療」をテーマにCOVID-19シンポジウムを開催。日医からは、角田副会長、釜菴・今村両常任理事が参加。松本会長は、ビデオメッセージで、日医は状況改善の方策を示して、その実現に努めていると述べる。</p> <p>8月30日 松本会長は、茂松・角田・猪口各副会長、釜菴常任理事と共に経済産業省を訪れ、西村康稔経産大臣と会談を行う。松本会長が新型コロナウイルス感染症について、高い効果が期待できる治療薬がないことを説明し、国民を安心させるためにも、一刻も早い治療薬の開発が待たれるとの認識で大臣と意見が一致。</p> <p>8月31日 定例記者会見<br/>新型コロナウイルス感染症の感染状況を受けて、第7波について、新規感染者数は依然として多く、病床使用率も全国的に高止まりで、医療提供体制に大きな負荷が生じていると述べる（松本会長）。また、同席した釜菴常任理事は、</p> | <p>イン資格確認の普及に向けた連携会議」を各都道府県に設置することを報告。</p> <p>8月21日 政府は、岸田首相が新型コロナウイルスに感染したことが確認されたと発表。テレワークを活用して、執務は続ける。</p> <p>8月24日 厚労省は三師会（日本医師会・日本歯科医師会・日本薬剤師会）が組織するオンライン資格確認推進協議会と合同で、説明会を開催し、水谷忠由医療介護連携政策課長は、オンライン資格確認等システムの早期の導入を医療機関・薬局関係者に強く要請。</p> <p>8月24日 新型コロナ感染で自宅療養中の岸田首相は、オンラインで記者会見を行い、医療機関や保健所の負担軽減策として、都道府県の判断で新型コロナ感染症の発生届を重症化リスクのある者に限定することを可能にすると発表。</p> <p>8月25日 厚労省は後期高齢者の窓口負担割合見直しで医療機関向けの説明資料をホームページで公開。</p> <p>8月25日 厚労省の第8次医療計画等に関する検討会は、医師以外の医療従事者の確保について意見交換し、訪問看護師や病院薬剤師の確保が重要な論点となった。</p> <p>8月31日 厚労省は令和2年度（2020年度）介護保険事業状況報告（年報）を公表。同資料によると、20年度の介護給付費は10兆2311億円となり、初めて10兆円を超過。</p> <p>8月31日 厚労省は2023年度予算概算要求を財務省に提出。一般会計の総額は前年度比6340億円増の33兆2644億円で、自然増は5600億円を見込んでいる。</p> <p>8月31日 厚労省は、2023年度の税制改正要望を公表。医療機関再編や認定医療法人に対する特例の延長などを要望。</p> |



| 医師会関係事項                         | その他の医療関係・一般事項 |
|---------------------------------|---------------|
| <p>行政から対象の患者に支援を行うことが重要と強調。</p> |               |

| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項   |
|--|---|
| <p>9月</p> <p>9月8日 令和4年度都道府県医師会社会保険・情報システム担当理事連絡協議会をWEBで開催。オンライン資格確認への理解と協力を求める。</p> <p>9月9日 松本吉郎会長は、財務省で鈴木俊一財務大臣と会談し、岸田文雄内閣総理大臣が9月8日の記者会見で、エネルギー価格高騰への支援として、医療機関等についても強化を行う方針を示したことに謝意を示す。</p> <p>9月9日 松本会長は、文部科学省で永岡桂子文科大臣と会談し、松本会長は「今後も政府与党と連携を密にし、惜しまず協力していきたい」と述べ、永岡大臣は謝意を表明。</p> <p>9月14日 定例記者会見<br/>オンライン資格確認導入推進のための日本医師会の取り組み、「地域医療をしっかりと守りつつ、医療DXの基盤となるオンライン資格確認の推進をさらに加速していく」と述べる（長島公之常任理事）。</p> <p>9月20日 令和4年度第1回都道府県医師会長会議がWEB会議で開催され、「新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制について」をテーマに活発に討議。</p> <p>9月23、24日 アジア大洋州医師会連合（CMAAO）パキスタン総会を「COVID-19パンデミックにおける医療」をテーマに開催。日医からは松本会長（CMAAO理事）、角田徹副会長、今村英仁常任理事（CMAAO事務総長）、村田真一弁護士（CMAAO法律顧問）がオンラインで参加。13の加盟医師会（日本、バングラデシュ、香港、インドなど）から約50名が参加。</p> <p>9月28日 定例記者会見<br/>（1）地域に根差した医師の役割について説明、自院での診療以外にも地域にどっぷりつかりながら、それぞれの地域で連携し、面として医療を支えている医師たちに深い感謝の意を示す</p> | <p>9月</p> <p>9月2日 政府は新型コロナウイルス感染症対策本部で、次の感染症危機に備えるための対応の具体策を決定。日本版CDCは2025年度以降に設置することを目指すとしている。</p> <p>9月2日 日本感染症学会と日本化学療法学会は、新型コロナウイルス感染症における喫緊の課題と解決策に関する提言を取りまとめ、加藤勝信厚生労働大臣に提出。塩野義製薬が承認申請している治療薬を早急に緊急承認するよう強く求めている。</p> <p>9月5日 厚労省は10月1日から適用される診療報酬改定の関連通知等を地方厚生局などに送付。「医療情報・システム基盤整備体制充実加算」では、初診時間診票の標準的項目を提示。また、診療報酬改定の「疑義解釈資料（その1）」を事務連絡した。</p> <p>9月6日 岸田首相は記者会見で、9月26日から全国一律での療養の考え方を転換し、全数届出を見直すとともに、オミクロン株対応ワクチン接種を9月から前倒しして開始する考えを表明。</p> <p>9月7日 厚労省は、2022年度診療報酬改定で新設や見直しがあった施設基準のうち、9月末で終了するものの取り扱いを地方厚生局などに事務連絡。</p> <p>9月8日 MSDは、新型コロナウイルス感染症経口治療薬ラゲブリオについて、9月16日から一般流通を開始すると発表。</p> <p>9月9日 厚労省の第8次医療計画等に関する検討会はかかりつけ医機能について議論。かかりつけ医機能の定義や制度整備のあり方について討議が行われる。</p> <p>9月14日 中央社会保険医療協議会総会を開催。インフルエンザ診断の補助に用いる医療機器、臨床検査の保険適用などを了承。城守国斗常任理事が委員を退任。</p> <p>9月14日 厚労省は主な施設基準の2021年7月</p> |

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項  |
|---|--|
| <p>(松本会長)。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いの延長・拡充を評価、「まだ新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着いている状況ではなく、各地域の医療機関は全力で対応している。その医療機関をしっかり支える対応を延長・拡充するのは望ましいことである」と述べる(長島常任理事)。</p> | <p>1日現在の届出状況を中医協総会に報告。外来医療では、オンライン診療料や機能強化加算が増加傾向にある。</p> <p>9月15日 日本医療機能評価機構は「医療安全情報 No.190」公表し、膀胱留置カテーテルの接続口の選択間違いで注意喚起。</p> <p>9月16日 厚労省は令和3年度(2021年度)医療費の動向を公表。21年度の概算医療費は44.2兆円で、コロナ禍からの反動で約2.0兆円(4.6%)増えた。</p> <p>9月20日 政府は新型コロナワクチンの初回接種(1回目、2回目)を完了し、最終の接種から5か月以上経過している12歳以上の者を対象にオミクロン株対応ワクチンの接種を開始。</p> <p>9月20日 厚労省の母子健康手帳、母子保健情報等に関する検討会は、母子健康手帳の見直しについて中間報告書を取りまとめた。来年度からの新様式で、睡眠やスマホの項目を追加する考えを示している。</p> <p>9月21日 厚労省は医師偏在指標の見直しに関する論点を「地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループ」に提示。この日は、勤務施設別の医師偏在指標、複数の医療機関に勤務する医師の取り扱いなどについて論点を提示。</p> <p>9月21日 厚労省が公表した2021年度の介護給付費等実態統計によると、受給者1人当たり費用額が前年同月比で1.2%の減少となった。新型コロナウイルス感染拡大による通所介護などの利用控えが影響したとみられる。</p> <p>9月27日 厚労省は10月1日から新設する「看護職員処遇改善評価料」の取り扱いや、大病院外来における受診時定額負担の見直しに関する疑義解釈資料を地方厚生局などに事務連絡。</p> <p>9月28日 厚労省の「在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループ」は、同省で在宅療養支援診療所(在支援)や在宅医療連携拠点を医療計画に位置づけることなどを論点と</p> |

| 医師会関係事項 | その他の医療関係・一般事項  |
|---------|--|
|         | <p>して提示し、おおむね了承される。</p> <p>9月29日 社会保障審議会医療部会は、かかりつけ医機能に関する議論を開始。2023年度末の取りまとめを目指す。</p> <p>9月30日 厚労省は2021年の医療施設（動態）調査と病院報告の概況を公表。一般診療所は10.4万施設、有床診療所の無床化が進んでいる現状が浮き彫りに。</p> <p>9月30日 厚労省は、いわゆる内密出産の事例が複数公表されている状況を受け、内密出産のガイドライン（妊婦がその身元情報を医療機関の一部の者のみに明らかにして出産したときの取扱い）を策定し、全国に通知。</p> |

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項   |
|---|---|
| <p>10月</p> <p>10月5～8日 世界医師会（WMA）ベルリン総会が3年ぶりに対面形式で開催され、ドイツ医師会設立75周年記念式典も同時に挙行される。日本医師会からは、WMA理事として横倉義武名誉会長（松本吉郎会長代理）、角田徹副会長（WMA理事会副議長）、今村英仁常任理事、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席。参加者は57加盟各国医師会及び国際機関等から約340名。</p> <p>10月11日 第36回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会をWEB会議で開催。厚生労働省からの説明を基にワクチン接種体制の整備への協力を求める。</p> <p>10月12日 定例記者会見</p> <p>（1）新型コロナウイルス感染症の現況について、①新型コロナの現況等②診療・検査医療機関の拡充③感染症法等改正法案④物価高騰対策—について、日本医師会の見解を述べる（松本会長）。</p> <p>（2）オミクロン株対応2価ワクチンについて、BA.1対応ワクチンもBA.4-5対応ワクチンも、現在流行のオミクロン株に対する効果は期待できると説明（釜范敏常任理事）。</p> <p>（3）日本環境感染学会と協定を締結。日本医師会災害医療チーム（JMAT）と同学会の災害時感染制御支援チーム（DICT）が災害発生時に協力するもの（細川秀一常任理事）。</p> <p>10月19日 定例記者会見</p> <p>（1）新型コロナウイルス感染症の現況について、オミクロン株対応型の接種も開始され、ワクチン接種について、全国の医療機関で接種体制の構築が進んでいると説明（松本会長）。</p> <p>（2）新型コロナウイルス感染症対応人材ネットワーク研修について、研修内容を説明し、研修への参加を呼び掛ける（猪口雄二副会長）。</p> <p>10月19日 令和4年度都道府県医師会医師会組織強化担当役員連絡協議会をWEB会議で開</p> | <p>10月</p> <p>10月4日 「日本健康会議2022」を都内で開催。松本吉郎会長が予防・健康づくりにおける日本医師会の取り組みについて講演。</p> <p>10月5日 中央社会保険医療協議会総会を開催。茂松茂人副会長が10月1日付で委員に就任し、挨拶を行う。茂松副会長は、「この国で培われた国民皆保険制度をしっかりと堅持していく観点から頑張ってまいりたい」などと述べる。</p> <p>10月5日 厚生労働省は、ファイザーが申請していた生後6か月～4歳を対象としたオミクロン株BA.5対応の新型コロナワクチンを特例承認。</p> <p>10月7日 厚労省は第8次医療計画等に関する検討会に、二次医療圏の設定や基準病床数の算定についての論点を提示。</p> <p>10月12日 政府は医療DX推進本部の初会合を開催。全国医療情報プラットフォームの創設など医療DXに関する施策をスピード感をもって進めていくための工程表を2023年春に策定する方針を確認。</p> <p>10月12日 厚労省は医師確保計画における目標医師数の設定について具体案を「地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループ」に提示。医師多数・中程度区域の目標医師数に上限を設定することなどを提案。</p> <p>10月12日 中医協の入院・外来医療等の調査・評価分科会は、DPC/PDPSに関する特別調査の実施を了承。</p> <p>10月13日 政府の第1回新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォースが開催される。松本会長は現地参加、茂松副会長、釜范敏常任理事はWEBで参加。松本会長は、関係者と連携を図り「同時期の流行」という難局を乗り越えていく決意を示す。</p> <p>10月13日 岸田文雄首相は、首相官邸で開かれた新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォースの初会合に出席し、医療関係団体や自</p> |

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項  |
|---|--|
| <p>催。松本会長は「この取り組みは全国全ての医師会が足並みをそろえて、初めて強い実効性が担保される」と強調。</p> <p>10月22日 日本医師会主催による「過去の災害から得られた経験と教訓～現在、そして将来への課題～」をテーマとしたシンポジウムが、兵庫県で行われた「防災推進国民大会 2022」で、日本医師会セッションとして動画配信される。</p> <p>10月24日 松本会長は、日本記者クラブで「新型コロナウイルス感染症対応を含めた、日本の医療提供体制の現状と課題、日本医師会の取り組み」と題して記者会見。</p> <p>10月26日 定例記者会見</p> <p>(1) 医療機関勤務環境評価センターの現状について、「評価受審の受付」を開始したことを報告（城守国斗常任理事）。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取り扱いについて、「新たな診療報酬上の評価が示されたことは、地域医療の実情を関係各位にご理解いただけた結果」と述べる（長島公之常任理事）。</p> <p>(3) 全医師への「医師資格証」発行促進に向けた決意を示す（長島常任理事）。</p> | <p>治体などに対し、ワクチン接種やオンライン診療など保健医療体制のさらなる拡充への協力を求めた。</p> <p>10月17日 日本医療機能評価機構は「医療安全情報 No.191」公表し、容器の取り違いによる高濃度アドレナリンの局所注射で注意喚起。</p> <p>10月18日 政府の第2回新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォースが開催される。松本会長と茂松副会長はWEBで参加。松本会長は、日本医師会として、都道府県医師会、郡市区医師会に、同時期の流行を見据えた発熱外来の一層の拡充を要請したことを報告。</p> <p>10月19日 厚労省の第1回医療法人の経営情報のデータベースの在り方に関する検討会は、2023年度中の構築を目指す医療法人の経営情報のデータベースについて、収集する経営情報の内容などの大枠を固めた。</p> <p>10月21日 厚労省は、オミクロン株対応のワクチンの接種間隔について、「5か月以上」から「3か月以上」に短縮することを決め、運用を開始。</p> <p>10月26日 中医協薬価専門部会は、2023年度の薬価中間改定について、関係業界から意見を聴取した。業界側は、昨今の物価高や円安の進行で低薬価医薬品や後発医薬品を中心に原価率が上昇している現状を示し、実施の是非を含めて慎重に検討すべきだと主張。</p> <p>10月26日 厚労省の第8次医療計画等に関する検討会は、次期医療計画について議論し、外来医師偏在指標の活用や高額医療機器の共同利用などに関する見直しのおおよその方向性を固める。また、医療計画に記載する5事業について、同省が提示した見直し案を大筋で了承。高齢者救急搬送の増加を見据え、救急医療機関の役割を明確化。</p> <p>10月26日 中医協調査実施小委員会が開催され、次期医療経済実態調査に関する本格的議論を開始。</p> <p>10月27日 厚労省は「地域医療構想及び医師確</p> |



| 医師会関係事項 | その他の医療関係・一般事項   |
|---------|---|
|         | <p>保計画に関するワーキンググループ」に、これまでの議論を踏まえた新しい医師偏在指標の算出結果（速報値）を示した。新旧の指標で医師多数区域が中程度区域に変わるなど区分をまたぐ変更があった。また、地域医療連携推進法人に個人立医療機関が参加できる類型を新設することを厚労省が提案した。</p> <p>10月28日 政府は、財政支出ベースで約39兆円に上る大型の総合経済対策「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を閣議決定。医療・介護のDX推進では、マイナカードと保険証の一体化を加速するとしている。</p> <p>10月31日 厚労省の「在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループ」は、在宅医療の体制構築に係る指針の改定内容を盛り込んだ意見のとりまとめ案を大筋で了承。在宅療養支援診療所（在支診）などを在宅医療において積極的役割を担う医療機関として医療計画に位置づけることなどを新たに求める。</p> |

| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項   |
|--|---|
| <p>11月</p> <p>11月1日 日本医師会設立75周年記念式典並びに医学大会を開催。長きにわたり医学・医療の発展に貢献してきた功労者を顕彰。</p> <p>11月2日 定例記者会見<br/>「地域における面としてのかかりつけ医機能～かかりつけ医機能が発揮される制度整備に向けて～（第1報告）」を公表。かかりつけ医は患者が選ぶもので、制度化ではなく、制度整備であると強調（松本吉郎会長）。</p> <p>11月9日 神村裕子常任理事と齋藤義郎有床診療所委員会委員長（徳島県医師会長）および河野雅行副委員長（宮崎県医師会長）他7名の委員は、第1回有床診療所委員会の開催に先立ち、小石川療養所跡を訪問。</p> <p>11月12日 令和4年度第53回全国学校保健・学校医大会を「子どもたちの『生きる力』を育む」をメインテーマに開催。盛岡市内及びWEB配信によるハイブリッド形式で開催。</p> <p>11月14日 松本会長は、エナブレ世界医師会長らと共に加藤勝信厚生労働大臣と会談。低中所得国の医療における課題を共有。会談には、横倉義武名誉会長、角田徹副会長、今村英仁常任理事も同席。</p> <p>11月15日 令和4年度第2回都道府県医師会長会議がWEB会議により開催。「医療従事者の安全を確保するための対策について」をテーマとして活発に討議。</p> <p>11月15日 日本医師会は第9回理事会で、令和3年度に実施したAMED（日本医療研究開発機構）研究の成果物である「治験計画届作成システム」を、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構に譲渡することを決定。</p> <p>11月17日 今村常任理事は、ボストンを訪問し、ハーバード大学 T.H.Chan 公衆衛生大学院武見国際保健プログラムを視察。</p> <p>11月18日 第3回新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォースを厚労省とWEB会議で</p> | <p>11月</p> <p>11月2日 日本小児科学会は、生後6か月以上5歳未満の小児に対する新型コロナワクチン接種について、健康な小児も含め「接種を推奨する」との見解を発表。</p> <p>11月7日 財務省は財政制度等審議会財政制度分科会に提出した資料で、コロナ関係の補助金などで医療機関経営は近年になく好調との認識を表明。</p> <p>11月8日 厚生労働省の第2回医療法人の経営情報のデータベースの在り方に関する検討会は、報告書をまとめた。医療法人に損益計算書情報の提出などを義務づけ、給与に関する情報の任意提出を求める制度を創設する内容となっている。</p> <p>11月9日 中央社会保険医療協議会薬価専門部会が開催され、医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会における議論の状況の報告を受けた。</p> <p>11月10日 松本吉郎会長と渡辺弘司常任理事は、文部科学省を訪れ、永岡桂子文科大臣に日本医師会の学校保健に関する取り組みについて説明し、学校保健委員会の答申を手交。</p> <p>11月11日 厚労省の第8次医療計画等に関する検討会は、次期医療計画における看護師、薬剤師等の確保策について、事務局が提示した論点をおおむね了承。</p> <p>11月11日 厚労省とデジタル庁は、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の機能停止を発表。</p> <p>11月14日 厚労省は社会保障審議会介護保険部会に、複数の在宅サービスを組み合わせた複合型サービスの新設などを論点に提示。</p> <p>11月16日 中医協薬価専門部会が開催され、2023年度の薬価中間年改定について議論。改定対象品目、既収載品目の算定ルールの適用範囲などで各側の意見対立続く。</p> <p>11月16日 中医協調査実施小委員会が開催され、</p> |

| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項   |
|--|---|
| <p>開催。重症化リスクに応じた外来受診・療養に関する呼び掛けを一段階引き上げる方針を了承。</p> <p>11月30日 定例記者会見</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の現況等について、「感染者数を抑えるため、ワクチン接種の一層の推進が重要」と述べる(松本会長)。</p> <p>(2) 電子処方箋普及に向けた医師資格証(HPKIカード)の対応について説明(長島公之常任理事)。</p> | <p>医療経済実態調査の見直し案を了承。次回の実態調査は単月調査を廃止し、一般診療所の抽出率を引き上げ、分析結果の精度向上につなげるとしている。</p> <p>11月17日 厚労省は、社会保障審議会医療保険部会に、第4期医療費適正化計画(2024～29年度)の策定に向けた見直し案を提示。医療・介護の複合的ニーズがある高齢者へのサービス提供の推進や、エビデンスが乏しいとされる医療の適正化などで目標設定を提案。また、厚労省は後期高齢者の保険料賦課限度額見直しなどを提案。</p> <p>11月24日 厚労省の第8次医療計画等に関する検討会は、次期医療計画における地域医療支援病院の取り扱いについての事務局案を大筋で了承。基準を満たす地域医療支援病院は重点医療機関の標榜を原則化。</p> <p>11月24日 政府の全世代型社会保障構築会議は、論点整理をまとめ、かかりつけ医機能の制度整備で手上げ方式の導入を明記。</p> <p>11月24日 塩野義製薬は、開発中の新型コロナウイルス感染症ワクチンについて、5つの国内臨床試験で良好な結果を得たとして、承認申請を行ったと発表。</p> <p>11月28日 社会保障審議会医療部会をWEB会議で開催。「かかりつけ医機能が発揮される制度整備」の骨格案について議論。また、同会議に厚労省は、地域医療構想の今後の進め方を提示した。日医からは角田徹副会長、釜范敏常任理事が出席。</p> <p>11月29日 財政制度等審議会は令和5年度予算の編成等に関する建議をまとめ、鈴木俊一財務大臣に提出。社会保障では、ウイズコロナへの移行と全世代型への制度改革と題して、コロナ対応の補助金や診療報酬特例の見直しなどを提言。</p> <p>11月29日 厚労省は新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスの両抗原を同時に検査でき</p> |

| 医師会関係事項 | その他の医療関係・一般事項  |
|---------|--|
|         | <p>る抗原定性検査キットについて、薬局やインターネットでの一般向け販売を容認することを決め、ガイドラインを通知した。</p> <p>11月30日 厚労省は令和2（2020）年度国民医療費の概況を公表し、同年の国民医療費は42兆9665億円で、前年度比で1兆4230億円（3.2％）減少したことがわかった。新型コロナウイルスの感染拡大による受診控えが原因とされている。</p> |

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項  |
|---|--|
| <p>12月</p> <p>12月3日 令和4年度家族計画・母体保護法指導者講習会を、「心の問題を考える—その後のサポートへ繋げるために」をテーマにWEB会議で開催。松本吉郎会長は挨拶で、出生前検査に対する関心が高まっており、産婦人科医の果たす役割がますます重要になっていると述べる。</p> <p>12月8日 令和4年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会をWEB会議で、「産科医療補償制度と医事紛争」をテーマに開催。松本会長は、日本医師会医師賠償責任保険制度は、会員にとって日常診療の強力な後ろ盾としての役割を果たしているなどと述べる。</p> <p>12月12日 松本会長は、内閣府を訪れ、後藤茂之内閣府特命担当大臣にかかりつけ医機能のあり方などで要望。</p> <p>12月14日 定款・諸規程検討委員会は、「理事定数を33名以内とし、常任理事を4名増員する」ことを結論とした答申を取りまとめ、菊岡正和委員長から松本会長に提出。</p> <p>12月15日 日本医師会医療機関勤務環境評価センター医療機関の評価申請に関する説明会をオンラインで開催。会議では、概要や留意点等を説明し、早期申請への協力が求められた。松本会長は「医師の勤務環境の改善を図っていききたい」などと挨拶。</p> <p>12月23日 松本会長、財務省を訪れ、鈴木俊一財務大臣と「令和5年度薬価改定の骨子（案）」が中医協総会で了承されたこと等について会談を行う。</p> <p>12月27日 令和4年度第28回常任理事会で、宮川政昭常任理事は、閣議決定された「令和5年度税制改正大綱」のなかで、日本医師会の要望が実現した項目について報告。認定医療法人制度の延長・拡充、医療用機器等の特別償却制度の延長などが実現。</p> | <p>12月</p> <p>12月2日 厚生労働省は中央社会保険医療協議会薬価専門部会に、薬価調査の速報値を報告。薬価と市場実勢価との平均乖離率は約7.0%で、前回調査から0.6ポイント縮小した。</p> <p>12月5日 厚労省は、社会保障審議会医療部会に、オンライン診療の場所の拡大について、具体案の骨子を提示。へき地等で医師常勤不要の専用診療所の開設を容認へ。また、かかりつけ医機能の制度整備について、当初案を修正し、患者への書面交付で提供する医療の内容を説明することとした。従来は、書面交付や説明でかかりつけの関係を確認する仕組みとしていたが、医師・患者間で新たな契約が生じるような誤解を与える可能性が指摘されていた。</p> <p>12月9日 中医協薬価専門部会を開催。物価高と円安に起因する原材料費の高騰などの対応について、特例は対象を限定して実施することで各側の見解はおおむね一致。</p> <p>12月9日 厚労省の社会保障審議会医療保険部会に、次期制度改正の主な課題の見直しの方向性や財政試算を提示。出産育児一時金と後期高齢者医療制度における高齢者の負担率の見直しで、後期高齢者の一人当たりの保険料は年間で5300円増えるとしている。</p> <p>12月9日 厚労省は第8次医療計画等に関する検討会で、医療法に基づく外来機能報告の報告開始時期は2023年2月下旬以降になる見通しを明らかにした。また、新興感染症対応について、医療計画策定にあたっての基本的な考え方や記載内容などの案を提示した。</p> <p>12月12日 「デジタル庁マイナンバーカードと健康保険証の一体化に関する検討会第1回専門家ワーキンググループ」がWEB会議で開催され、日本医師会から長島公之常任理事が出席。医療現場に負担のない形でのマイナ保険証の利用拡大を求める。</p> <p>12月14日 厚労省の「地域医療構想及び医師確</p> |

| 医師会関係事項 | その他の医療関係・一般事項  |
|---------|--|
|         | <p>保計画に関するワーキンググループ」は、第8次医療計画における地域医療構想の進め方を大筋でまとめる。</p> <p>12月15日 社会保障審議会医療部会を開催し、医療保険制度改革に関する論点の整理をまとめる。出産育児一時金の費用の一部を後期高齢者が支える仕組みの導入や、後期高齢者の保険料の引き上げなどを行い、現役世代の負担を軽減する。</p> <p>12月16日 中医協薬価専門部会は2023年度の中間年薬価改定について、平均乖離率の0.625倍（乖離率4.375%）を超える品目を対象に実施することを決定。</p> <p>12月16日 政府の全世代型社会保障構築会議は、報告書をまとめ岸田文雄首相に提出。後期高齢者医療制度における高齢者負担率の見直しや、かかりつけ医機能報告制度の創設などを盛り込む。</p> <p>12月20日 神奈川歯科大学は、記者会見で、認知症診療と歯科医療を融合した医科歯科連携のクリニックを東京都中央区に開設すると発表。</p> <p>12月21日 中医協総会をWEB会議で開催。「令和5年度薬価改定の骨子（案）」を了承。長島常任理事は、「前回の中間年薬価改定と同様の改定対象及び範囲とされたことは非常に厳しい」と述べる。</p> <p>12月23日 中医協をWEB会議で開催。オンライン資格確認導入の原則義務付けへの経過措置などに関する答申まとまる。</p> <p>12月23日 政府は2023年度予算案を閣議決定。一般歳出のうち社会保障関係費は36兆8889億円となり、前年度比で6154億円（1.7%）の増加。自然増は4100億円。</p> <p>12月23日 政府は2023年度税制改正大綱を閣議決定。内容は、認定医療法人の税制上の特例期限を2026年12月末まで延長など。</p> <p>12月28日 社会保障審議会医療部会を開催し、医療提供体制の改革に関する意見をまとめ、公</p> |



| 医師会関係事項 | その他の医療関係・一般事項  |
|---------|--|
|         | <p>表。かかりつけ医機能報告制度の創設などが盛り込まれている。</p> <p>12月28日 厚労省の第8次医療計画等に関する検討会は、第8次医療計画等に関する意見のとりまとめを公表。</p> |

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項  |
|---|--|
| <p>令和5年1月</p> <p>1月6日 日本医師会シンポジウム「知ってほしい！新型たばこの危険性」を日本医師会公式YouTubeチャンネルで動画掲載。</p> <p>1月11日 定例記者会見</p> <p>(1) 新年に当たって、地域医師会と連携して難局に立ち向かい、全力で邁進していくとの決意を示す（松本吉郎会長）。</p> <p>(2) 第11回「日本医師会 赤ひげ大賞」の大賞並びに功労賞の受賞者が決定。担当の黒瀬巖常任理事は、「受賞者の功績を知ること、一人でも多くの方々に、受賞者のようなかかりつけ医をもちたいと思ってもらえればありがたい」と述べる。</p> <p>1月13日 第5次医師会組織強化検討委員会は、「医師会組織強化に向けた検討結果（中間報告・提言）」を取りまとめ、伊在井みどり委員長（岐阜県医師会長）から松本会長に提出。研修医に実施している会費減免を、令和5年度より医学部卒後5年目までに期間延長したことについて評価し、三層全ての医師会が足並みをそろえるべきだとしている。</p> <p>1月17日 令和4年度第3回都道府県医師会長会議を日医会館大講堂で開催。「学校保健を巡る諸課題について」をテーマに活発な討議が行われる。</p> <p>1月19日 松本会長は、総理官邸を訪れ、岸田文雄内閣総理大臣と新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの見直しなどについて会談。松本会長は、国・行政による支援が必要であることを強調し、見直しは段階的に行うよう要望した。岸田総理も段階的に見直す必要があるとの認識を示す。</p> <p>1月25日 定例記者会見</p> <p>新型コロナウイルス感染症の現況等について、今月19日に岸田総理と会談したことを報告。段階的な対応を経て、ソフトランディングの形で移行するよう要望したと述べる（松本会長）。</p> | <p>令和5年1月</p> <p>1月7日 エーザイは、米バイオジェンと共同開発したアルツハイマー病疾患修飾薬レカネマブについて、米国食品医薬品局（FDA）より迅速承認を取得したと発表。</p> <p>1月12日 厚生労働省の医療情報の提供内容等のあり方に関する検討会は、医療機能情報提供制度の報告項目の見直しなどについて議論。オンライン資格確認で取得した診療情報の活用を報告項目に追加へ。</p> <p>1月16日 社会保障審議会介護給付費分科会は、介護職員処遇改善加算などの申請様式の簡素化を了承。2023年度分の計画書や実績報告書から新様式による作成・提出を求める。</p> <p>1月16日 日本医療機能評価機構は、「医療安全情報 No.194」を公表。人工呼吸管理中の患者の体位交換時の医療事故で注意を喚起。</p> <p>1月16日 エーザイは、米国、欧州に続き日本においてもアルツハイマー病疾患修飾薬レカネマブの承認申請を行ったと発表。</p> <p>1月17日 厚労省は、「令和3年度（2021年度）における保険医療機関等の指導・監査等の実施状況」を公表。それによると、保険医療機関等の取り消しは26件、前年度比7件増加。</p> <p>1月18日 中央社会保険医療協議会総会を開催。2024年度の次期診療報酬改定に向けた検討の進め方案を了承。第8次医療計画、医師の働き方改革、医療DXから議論することを確認。</p> <p>1月19日 2024年度中の統合を目指している東京医科歯科大と東京工業大学は、統合後の新大学の名称は「東京科学大学」にすると発表。</p> <p>1月20日 岸田文雄首相は、記者会見で、現在2類相当としている新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて、今春から季節性インフルエンザなどと同じ5類に見直す方向で議論を進めるよう関係閣僚に指示したと明らかにした。</p> <p>1月23日 厚労省は、2023年4月から始まるレ</p> |

| 医師会関係事項 | その他の医療関係・一般事項  |
|---------|--|
|         | <p>セプトの返戻再請求のオンライン化の経過措置を記載した通知を都道府県担当部局などに送付。</p> <p>1月25日 中医協総会を開催。新型コロナウイルス感染症治療薬ゾコーバ錠について、2022年度薬価制度改革で導入された高額医薬品への対応ルールを初めて適用することを決定。</p> <p>1月27日 政府は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて、オミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現するなどの特段の事情が生じない限り「5月8日」から5類感染症に変更するとの方針を決定した。</p> <p>1月27日 厚労省は、4月からの保険医療機関へのオンライン資格確認の導入義務化で、経過措置の取り扱いに関する留意事項を地方厚生局などに通知。</p> <p>1月31日 厚労省は、医療情報・システム基盤整備体制充実加算で再診時の対応等を整理し、事務連絡を発出。</p> |

| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項   |
|--|---|
| <p>2月</p> <p>2月7日 釜范敏常任理事、厚生労働省で開催された「新型コロナウイルス感染症の位置づけ変更後の医療体制に関する大臣と医療関係者との意見交換会」で日本医師会の考えを説明。意見交換会には、全日本病院協会長として猪口雄二副会長が出席。</p> <p>2月8日 新型コロナウイルス感染症等に関する全国知事会と日本医師会との意見交換会をWEB会議で開催。5類感染症へ円滑に移行するための経過措置を求める共同声明がまとまる。松本吉郎会長は、政府に本共同声明を届けるとし、医療現場と行政が連携して医療を守っていくべきだと強調。</p> <p>2月9日 令和4年度都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会をWEB会議で開催。学校保健活動の推進に向けた課題と対応を共有。</p> <p>2月10日 東京都医師会は、定例記者会見で、大都市では各開業医がグループを作っかかりつけ医機能を担うのが現実的との考えを表明。</p> <p>2月12日 令和4年度母子保健講習会を日本医師会館大講堂で開催。テーマは「母子保健におけるメンタルヘルス、こころの問題」で、渡辺弘司常任理事は、子ども家庭庁が創設されることなどについて言及。</p> <p>2月13日 日本医師会はトルコ・シリア地震を受けて AMDA に支援金を提供。AMDA による医療チームは、トルコ医師会を訪問して、義援金をシャブネム・ピンジャンジュ会長に手渡す。</p> <p>2月15日 定例記者会見<br/> (1) 全世代社会保障法案の閣議決定を受けて、かかりつけ医機能等について日本医師会の方針を説明。今後も国民のためにかかりつけ医機能がさらに発揮されるように推進していく考えを示す(松本会長)。<br/> (2) 訪日外国人の民間医療保険加入促進について、入国の際には民間医療保険へ加入するこ</p> | <p>2月</p> <p>2月1日 中央社会保険医療協議会薬価専門部会を開催。コロナ治療薬ゾコーバ錠、複数の比較薬で薬価を算定することなどをまとめる。</p> <p>2月3日 厚生労働省は、報告時期が延期されていた「外来機能報告」の報告様式2(診療実績の報告)について、3月6日から報告を開始すると事務連絡を発出。</p> <p>2月7日 政府は、新型インフルエンザ等対策特別措置法と内閣法の改正案を閣議決定した。今後、感染症の発生やまん延の初期段階から政府が迅速に対応できるよう、特措法の規定を見直す。</p> <p>2月10日 政府の新型コロナウイルス感染症対策本部は、マスク着用の考え方の見直しを決定。行政が一律にルールとして求めるのではなく、着用は個人の判断に委ねることを基本とするとしている。</p> <p>2月10日 政府は「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の改正案」を閣議決定し、国会に提出。かかりつけ医機能報告制度などが盛り込まれた。病院や診療所が都道府県に報告する項目は、発生頻度が高い疾患の診療、その他の日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能、休日・時間外診療の機能などとなっている。</p> <p>2月13日 厚労省の「腎疾患対策及び糖尿病対策の推進に関する検討会」は、糖尿病対策に係る中間とりまとめを公表し、同省が年度内に改正する次期医療計画に反映させる。</p> <p>2月15日 日本医療機能評価機構は、「医療安全情報 No.195」を公表。医療者が情報照合を怠ったことによる患者取り違えで注意喚起。</p> <p>2月15日 中医協総会を開催。新型コロナウイルス感染症治療薬ゾコーバ錠について、薬価上の特例的対応の案を了承。</p> <p>2月16日 厚労省の医療介護総合確保促進会議は、「地域における医療及び介護を総合的に確</p> |

| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項  |
|--|--|
| <p>とを求める日本医師会の見解を述べる（黒瀬巖常任理事）。</p> <p>2月16日 松本会長と長島公之常任理事は、厚労省で加藤勝信厚労大臣と会談し、令和5年1月から運用が開始された電子処方箋に関し、補助金の拡充を申し入れ。</p> <p>2月17日 令和4年度都道府県医師会事務局長連絡会を日医会館小講堂で開催。退職される4名の道県医師会事務局長に感謝状を贈呈。</p> <p>2月18日 第6回「生命(いのち)を見つめるフォト&amp;エッセー」表彰式を都内で開催。フォト、エッセー部門の入賞作品を表彰。</p> <p>2月22日 「第31回日本医学会総会2023 東京」記者会見を日医会館小講堂で開催。テーマは「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生100年時代を求めて～」で、東京国際フォーラム及び丸の内・有楽町エリアで学術集会や学術展示、博覧会などを開く。ハイブリッド形式で4月開催の予定。</p> <p>2月25、26日 令和4年度日本医師会医療情報システム協議会を「医療DX2023 DX推進の現状と将来の展望—DX推進のためにできること、すべきこと—」をテーマに、WEB会議で開催。</p> | <p>保するための基本的な方針」の見直し案を大筋でまとめる。</p> <p>2月24日 厚労省は、社会保障審議会医療保険部会に、デジタル庁の「マイナンバーカードと健康保険証の一体化に関する検討会」の中間とりまとめの内容を報告。マイナ保険証の取得が難しい場合などは資格確認書を交付。</p> <p>2月27日 厚労省は電子処方箋推進協議会の初会合で、2025年3月末までにオンライン資格確認に対応している全ての医療機関・薬局への電子処方箋の導入完了を目指し、今年9月以降、普及の取り組みを加速させる方針を示す。</p> |



| 医師会関係事項  | その他の医療関係・一般事項   |
|--|---|
| <p><b>3月</b></p> <p>3月1日 定例記者会見</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類感染症への変更後の医療提供体制について、都道府県医師会、郡市区医師会、病院団体等、全国知事会などと連携し、医療提供体制の確保に全力を尽くす、と述べる（松本吉郎会長）。また、感染状況把握の重要性を指摘（釜范敏常任理事）、診療報酬上の特例継続を要望（長島公之常任理事）について報告がされた。</p> <p>3月1～7日 3月1日から7日まで、子ども予防接種週間を実施。</p> <p>3月3日 第11回「日本医師会 赤ひげ大賞」表彰式とレセプションを開催。地域医療に尽力する5名の大賞受賞者と15名の功労賞受賞者を顕彰。表彰式では来賓の岸田文雄内閣総理大臣が受賞者の功績をたたえた。引き続き行われたレセプションでは、秋篠宮皇嗣同妃両殿下がご臨席され、受賞者らと懇談した後、加藤勝信厚生労働大臣が祝辞を述べた。</p> <p>3月3日 令和4年度（第56回）臨床検査精度管理調査報告会を日本医師会館大講堂で開催。臨床検査機関の精度管理向上を目指して行われたもので、松本会長は新型コロナの感染症法上の位置づけについて、「段階的にコロナと通常医療の両立を図っていくことが大事になる」と挨拶。</p> <p>3月7日 松本会長は釜范常任理事と共に厚労省を訪れ、加藤厚労大臣に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の類型変更後における財政支援を要望。</p> <p>3月8日 黒瀬巖常任理事は、キルギス共和国非感染性疾患（NCDs）対策研修で「かかりつけ医と生活習慣病」について講義を行う。国際協力機構（JICA）から「キルギス共和国『非感染性疾患の早期発見・早期治療のためのパイロットリファラル体制強化プロジェクト』」における研修依頼を受けたことによるもの。参加</p> | <p><b>3月</b></p> <p>3月1日 5類感染症への移行に伴う診療報酬上のコロナ特例の取り扱いで診療側、支払側が対立。診療側は特例の継続を求め、支払側は段階的な縮小を主張。</p> <p>3月1日 厚生労働省の「地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループ」が開催され、厚労省は認定再編計画に基づく再編統合の場合は、併設する医療機関との施設の一部共用を認めることなどを提案し、了承される。</p> <p>3月8日 中央社会保険医療協議会総会を開催。厚労省は新型コロナウイルス感染症対応の診療報酬上の特例について、見直しの方向性案を提示した。外来・入院特例を縮小し、介護施設入所者が感染した場合の対応充実を提案。</p> <p>3月8日 政府の医療DX推進本部幹事会は、「医療DXの推進に関する工程表（骨子案）」をまとめ、パブリックコメントの募集を始める。</p> <p>3月10日 政府の新型コロナウイルス感染症対策本部は、同感染症が5月8日に感染症法上の5類感染症に移行することに伴う医療提供体制と公費支援の見直しの方針を決定。病床確保料、患者負担の公費支援も見直す方向性が盛り込まれている。</p> <p>3月10日 厚労省は、サイバーセキュリティ対策を医療機関の管理者が遵守すべき事項に位置づける改正省令を公布。</p> <p>3月10日 中医協は持ち回り総会を開催し、新型コロナウイルス対応の診療報酬上の特例の見直し案を了承。新型コロナの5類移行の措置を受けてのもの。</p> <p>3月15日 中医協と社会保障審議会介護給付費分科会は、2024年度の診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の同時改定に向けた意見交換会を開催。</p> <p>3月16日 厚労省は、第117回医師国家試験の合格者を発表。受験者数1万293人のうち合格者は、9432人、合格率91.6%。</p> |

| 医師会関係事項   | その他の医療関係・一般事項   |
|---|---|
| <p>者は、キルギス保健省からイブラエワ・ヌルグル保健省医療施設・医薬品政策局長他3名、キルギス医師会ティレコフ・エルニス会長ら。</p> <p>3月14日 東京都医師会は、定例記者会見で、災害・パンデミックに対応した常設の臨時医療施設（サージキャパシティー）の設置を提案。今後、各方面に働きかける方針。</p> <p>3月15日 定例記者会見<br/>新型コロナウイルス感染症の現況等について、「国民の皆さんには医療機関や介護施設等における際のマスクの着用に対する理解と協力をお願いしたい」と述べる（松本会長）。</p> <p>3月17日 松本会長は、猪口雄二全日本病院協会会長、加納繁照日本医療法人協会会長、山崎學日本精神科病院協会会長ら医療、介護の10団体で厚労省を訪れ、加藤厚労大臣に光熱費等の物価高騰に対する支援を要望。</p> <p>3月22日 日本医師会は、令和4年度第13回理事会で、会員や一般の方から寄せられたウクライナへの医療支援に向けた支援金のうち、2億1300万円を世界医師会に寄附することを決定。当日、医療支援活動の報告に招かれたレオニード・エイデルマンテルアビブ大学教授（世界医師会元会長／イスラエル医師会前会長）に松本会長から目録が手渡された。</p> <p>3月26日 第153回日本医師会臨時代議員会を日医会館大講堂で開催。「日本医師会定款・諸規程一部改正の件」について、総代議員の3分の2以上の賛成で原案どおり承認し、常任理事の定数が4名増員となった。</p> <p>3月29日 定例記者会見<br/>新型コロナウイルス感染症の現況と新年度からの対応等について、感染症法上の位置づけが5類に移行されることを受けて、医療現場や国民生活の混乱を避けるためにも、段階的な移行によるソフトランディングとなるよう政府に要請してきたと述べる（松本会長）。</p> | <p>3月22日 中医協は、2022年度診療報酬改定の結果検証に関する特別調査（22年度調査）の報告書案を了承。「外来在宅共同指導料」「在宅療養移行加算」の算定は進んでいないことが判明。また、リフィル処方箋には、発行に消極的な施設が大勢を占める結果になったことが報告され、交付を受けたことがある患者は最も高い50代でも1割程度となった。</p> <p>3月23日 社会保障審議会医療保険部会は、レセプトオンライン請求の割合を100%に近づけていくためのロードマップ案を了承。</p> <p>3月28日 政府は、第4期がん対策推進基本計画を閣議決定。医療計画と一体で策定することとなる。</p> <p>3月31日 政府は、岸田内閣が掲げる「次元の異なる少子化対策」のたたき台として、「こども・子育て政策の強化について（試案）」を発表。注目されていた出産費用の保険適用について、「導入も含め支援のあり方について検討を行う」との表現にとどまった。</p> <p>3月31日 厚労省は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う診療報酬上の特例措置の見直しについて、地方厚生局などに事務連絡。初診からの電話やICTによる診療の特例は7月末で終了することなどを明記。</p> <p>3月31日 厚労省は、第8次医療計画作成指針などを通知。都道府県は2023年度中に次期計画を策定する。</p> |

日本医師会会員数

日本医師会会員数調査（令和4年12月1日現在）

| 都道府県<br>医師会 | 会 員 数   |        |         |         |        |       | A①会員の内訳 |        |       |       |
|-------------|---------|--------|---------|---------|--------|-------|---------|--------|-------|-------|
|             | 総数      | A①会員   | A②会員(B) | A②会員(C) | B会員    | C会員   | 病院開設者   | 診療所開設者 | 管理者   | その他   |
| 北海道         | 5,709   | 2,123  | 1,735   | 9       | 1,692  | 150   | 245     | 1,853  | 24    | 1     |
| 青 森         | 1,208   | 620    | 253     | 15      | 203    | 117   | 32      | 551    | 29    | 8     |
| 岩 手         | 1,608   | 665    | 310     | 18      | 513    | 102   | 23      | 565    | 9     | 68    |
| 宮 城         | 3,322   | 1,471  | 995     | 100     | 705    | 51    | 47      | 1,182  | 218   | 24    |
| 秋 田         | 1,543   | 571    | 153     | 7       | 737    | 75    | 26      | 526    | 9     | 10    |
| 山 形         | 1,558   | 656    | 232     | 13      | 643    | 14    | 21      | 635    | 0     | 0     |
| 福 島         | 2,695   | 1,172  | 532     | 0       | 812    | 179   | 49      | 893    | 191   | 39    |
| 茨 城         | 2,546   | 1,361  | 548     | 90      | 519    | 28    | 91      | 1,119  | 150   | 1     |
| 栃 木         | 2,316   | 1,138  | 346     | 19      | 626    | 187   | 43      | 950    | 141   | 4     |
| 群 馬         | 2,082   | 1,267  | 425     | 61      | 279    | 50    | 76      | 1,147  | 41    | 3     |
| 埼 玉         | 7,207   | 3,539  | 1,048   | 111     | 2,343  | 166   | 192     | 2,914  | 415   | 18    |
| 千 葉         | 3,938   | 2,933  | 590     | 16      | 397    | 2     | 234     | 2,694  | 0     | 5     |
| 東 京         | 19,532  | 10,079 | 2,818   | 425     | 6,083  | 127   | 282     | 8,223  | 1,169 | 405   |
| 神奈川         | 9,671   | 5,607  | 1,494   | 448     | 1,978  | 144   | 129     | 4,776  | 689   | 13    |
| 新 潟         | 3,297   | 1,197  | 521     | 26      | 1,460  | 93    | 41      | 1,040  | 88    | 28    |
| 富 山         | 1,163   | 670    | 162     | 32      | 297    | 2     | 44      | 535    | 75    | 16    |
| 石 川         | 1,275   | 695    | 329     | 102     | 141    | 8     | 25      | 583    | 82    | 5     |
| 福 井         | 1,038   | 438    | 303     | 4       | 254    | 39    | 31      | 367    | 37    | 3     |
| 山 梨         | 1,040   | 529    | 129     | 0       | 344    | 38    | 17      | 446    | 61    | 5     |
| 長 野         | 2,190   | 1,199  | 436     | 2       | 550    | 3     | 39      | 1,050  | 104   | 6     |
| 岐 阜         | 2,884   | 1,282  | 303     | 55      | 1,104  | 140   | 55      | 1,075  | 150   | 2     |
| 静 岡         | 4,421   | 2,275  | 767     | 57      | 1,227  | 95    | 33      | 1,868  | 341   | 33    |
| 愛 知         | 10,642  | 4,692  | 1,414   | 276     | 3,639  | 621   | 149     | 4,013  | 443   | 87    |
| 三 重         | 2,350   | 1,147  | 499     | 26      | 477    | 201   | 35      | 1,040  | 70    | 2     |
| 滋 賀         | 1,278   | 846    | 213     | 1       | 218    | 0     | 22      | 762    | 57    | 5     |
| 京 都         | 3,196   | 2,112  | 584     | 141     | 353    | 6     | 157     | 1,936  | 0     | 19    |
| 大 阪         | 16,221  | 7,474  | 6,014   | 407     | 2,318  | 8     | 183     | 6,130  | 887   | 274   |
| 兵 庫         | 8,628   | 4,508  | 2,638   | 116     | 1,351  | 15    | 123     | 3,605  | 681   | 99    |
| 奈 良         | 1,865   | 1,011  | 350     | 19      | 479    | 6     | 29      | 837    | 121   | 24    |
| 和歌山         | 1,496   | 877    | 394     | 7       | 215    | 3     | 37      | 740    | 87    | 13    |
| 鳥 取         | 729     | 377    | 150     | 30      | 167    | 5     | 17      | 360    | 0     | 0     |
| 島 根         | 889     | 455    | 251     | 9       | 174    | 0     | 8       | 430    | 16    | 1     |
| 岡 山         | 2,503   | 1,296  | 470     | 32      | 629    | 76    | 82      | 1,062  | 132   | 20    |
| 広 島         | 5,640   | 2,222  | 2,673   | 178     | 523    | 44    | 116     | 1,862  | 208   | 36    |
| 山 口         | 1,992   | 1,036  | 521     | 30      | 329    | 76    | 75      | 871    | 83    | 7     |
| 徳 島         | 1,524   | 607    | 363     | 0       | 547    | 7     | 62      | 470    | 70    | 5     |
| 香 川         | 1,711   | 708    | 421     | 3       | 578    | 1     | 50      | 610    | 48    | 0     |
| 愛 媛         | 2,731   | 987    | 1,226   | 84      | 407    | 27    | 90      | 875    | 6     | 16    |
| 高 知         | 1,290   | 456    | 524     | 20      | 289    | 1     | 56      | 300    | 92    | 8     |
| 福 岡         | 8,714   | 3,888  | 1,678   | 185     | 2,719  | 244   | 217     | 3,287  | 360   | 24    |
| 佐 賀         | 1,537   | 627    | 457     | 69      | 378    | 6     | 59      | 501    | 47    | 20    |
| 長 崎         | 3,271   | 1,090  | 1,440   | 37      | 632    | 72    | 83      | 908    | 91    | 8     |
| 熊 本         | 3,107   | 1,285  | 763     | 40      | 980    | 39    | 89      | 983    | 182   | 31    |
| 大 分         | 2,224   | 863    | 416     | 5       | 912    | 28    | 97      | 656    | 97    | 13    |
| 宮 崎         | 1,841   | 779    | 355     | 16      | 612    | 79    | 74      | 616    | 72    | 17    |
| 鹿児島         | 4,036   | 1,134  | 2,325   | 97      | 479    | 1     | 133     | 881    | 114   | 6     |
| 沖 縄         | 2,103   | 762    | 559     | 88      | 618    | 76    | 42      | 596    | 102   | 22    |
| 合 計         | 173,761 | 82,726 | 41,127  | 3,526   | 42,930 | 3,452 | 3,860   | 69,323 | 8,089 | 1,454 |
| 構成割合(%)     | 100.0   | 47.6   | 23.7    | 2.0     | 24.7   | 2.0   | 4.7     | 83.8   | 9.8   | 1.8   |

A① : 病院・診療所の開設者、管理者およびそれに準ずる会員  
A②(B) : 上記A①会員およびA②会員(C)以外の会員  
A②(C) : 医師法に基づく研修医  
B : 上記A②会員(B)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員  
C : 上記A②会員(C)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員

A①の内訳  
・病院の開設者（法人の代表者を含む）  
・診療所の開設者（法人の代表者を含む）  
・病院、診療所の管理者であって開設者でない者  
・その他

## 日本医師会歴代会長

(2023 年 9 月現在)



初代 北里柴三郎  
(大正 5 年～昭和 6 年)



2 代 北島 多一  
(昭和 6 年～ 18 年)



3 代 稲田 龍吉  
(昭和 18 年～ 21 年)



4 代 中山 壽彦  
(昭和 21 年～ 23 年)



5 代 高橋 明  
(昭和 23 年～ 25 年)



6 代 田宮 猛雄  
(昭和 25 年)



7 代 谷口弥三郎  
(昭和 25 年～ 27 年)



8 代 田宮 猛雄  
(昭和 27 年～ 29 年)



9 代 黒沢 潤三  
(昭和 29 年～ 30 年)



10 代 小畑 惟清  
(昭和 30 年～ 32 年)



11 代 武見 太郎  
(昭和 32 年～ 57 年)



12 代 花岡 堅而  
(昭和 57 年～ 59 年)



13 代 羽田 春逸  
(昭和 59 年～平成 4 年)



14 代 村瀬 敏郎  
(平成 4 年～ 8 年)



15 代 坪井 栄孝  
(平成 8 年～ 16 年)



16 代 植松 治雄  
(平成 16 年～ 18 年)



17 代 唐澤 祥人  
(平成 18 年～ 22 年)



18 代 原中 勝征  
(平成 22 年～ 24 年)



19 代 横倉 義武  
(平成 24 年～令和 2 年)



20 代 中川 俊男  
(令和 2 年～ 4 年)



21 代 松本 吉郎  
(令和 4 年～)

## 日本医学会

令和5年8月現在

|     |                              |
|-----|------------------------------|
| 任 期 | 令和5年6月24日～2年後の日本医学会臨時評議員会開催日 |
| 会 長 | 門田守人                         |
| 副会長 | 高橋雅英 磯 博康 門脇 孝 北川雄光          |

|                                |      |      |      |      |      |      |
|--------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 幹事（任期）                         |      |      |      |      |      |      |
| （令和5年6月24日～2年後の日本医学会臨時評議員会開催日） |      |      |      |      |      |      |
| 岡部繁男                           | 本間さと | 宮園浩平 | 今中雄一 | 苅田香苗 | 川上憲人 | 青木茂樹 |
| 岡 明                            | 春日雅人 | 小池和彦 | 小室一成 | 名越澄子 | 南学正臣 | 池田徳彦 |
| 木村 正                           | 齊藤光江 | 澤 芳樹 | 瀬戸泰之 | 松本守雄 | 北 潔  | 秋葉澄伯 |
| 矢富 裕                           | 森 正樹 |      |      |      |      |      |

日本医学会事務局

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内 03-3946-2121(代)

## 日本医学会分科会

令和5年8月現在

| 番号 | 分 科 会                 | 〒 所 在 地                                       | 電話番号                     |
|----|-----------------------|---|--------------------------|
| 1  | 日 本 医 史 学 会           | 102-0074 千代田区九段南2-4-14<br>二松学舎大学九段4号館内        |                          |
| 2  | 日 本 解 剖 学 会           | 170-0003 豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル4F<br>(一財)口腔保健協会内  | 03-3947-8891             |
| 3  | 日 本 生 理 学 会           | 160-0016 新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館5F<br>(一財)国際医学情報センター内 | 03-5361-7277             |
| 4  | 日 本 生 化 学 会           | 113-0033 文京区本郷5-25-16 石川ビル内                   | 03-3815-1913             |
| 5  | 日 本 薬 理 学 会           | 113-0032 文京区弥生2-4-16 学会センタービル                 | 03-3814-4828             |
| 6  | 日 本 病 理 学 会           | 101-0041 千代田区神田須田町2-17 神田INビル6F               | 03-6206-9070             |
| 7  | 日 本 癌 学 会             | 160-0016 新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館<br>(一財)国際医学情報センター内   | 03-5361-7156             |
| 8  | 日 本 血 液 学 会           | 604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町518<br>前田エスエヌビル8F   | 075-231-5711             |
| 9  | 日 本 細 菌 学 会           | 170-0003 豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル4F<br>(一財)口腔保健協会内  | 03-3947-8891(代)          |
| 10 | 日 本 寄 生 虫 学 会         | 889-1692 宮崎市清武町木原5200<br>宮崎大学医学部感染症学講座寄生虫学分野内 | 0985-85-0990             |
| 11 | 日 本 法 医 学 会           | 112-0012 文京区大塚4-21-18<br>東京都監察医務院内            | 03-3942-5246             |
| 12 | 日 本 衛 生 学 会           | 602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル 中西印刷(株)<br>学会フォーラム内  | 075-415-3661             |
| 13 | 日 本 健 康 学 会           | 181-8611 三鷹市新川6-20-2 杏林大学医学部衛生学<br>公衆衛生学教室内   | 0422-47-5512<br>(内線3460) |
| 14 | 日 本 栄 養 ・ 食 糧 学 会     | 171-0014 豊島区池袋3-60-5<br>フェイヴァーフィールド池袋B03号室    | 03-6902-0072             |
| 15 | 日 本 温 泉 気 候 物 理 医 学 会 | 104-0061 中央区銀座8-17-5 THE HUB 銀座 OCT705号室      | 03-3541-0757             |



|    |                 |          |   |                           |
|----|-----------------|----------|---|---------------------------|
| 16 | 日本内分泌学会         | 600-8441 | 京都市下京区新町通四条下る四条町 343-1<br>タカクラビル 6F       | 075-354-3560              |
| 17 | 日本内科学会          | 113-8433 | 文京区本郷 3-28-8 日内会館                         | 03-3813-5991(代)           |
| 18 | 日本小児科学会         | 112-0004 | 文京区後楽 1-1-5 水道橋外堀通ビル 4F                   | 03-3818-0091              |
| 19 | 日本感染症学会         | 113-0033 | 文京区本郷 3-28-8 日内会館 2F                      | 03-5842-5845              |
| 20 | 日本結核・非結核性抗酸菌症学会 | 108-0074 | 港区高輪 4-11-24-A101                         | 03-6721-9983              |
| 21 | 日本消化器病学会        | 105-0004 | 港区新橋 2-6-2 新橋アイマークビル 6F                   | 03-6811-2351              |
| 22 | 日本循環器学会         | 101-0047 | 千代田区内神田 1-18-13 内神田中央ビル 6F                | 03-6775-9111              |
| 23 | 日本精神神経学会        | 101-0062 | 千代田区神田駿河台 2-3-6 CIRCLES 御茶ノ水 7F           | 03-6811-7130              |
| 24 | 日本外科学会          | 105-5111 | 港区浜松町 2-4-1<br>世界貿易センタービルディング南館 11F       | 03-5733-4094              |
| 25 | 日本整形外科学会        | 113-8418 | 文京区本郷 2-40-8                              | 03-3816-3671              |
| 26 | 日本産科婦人科学会       | 104-0031 | 中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル 4F                  | 03-5524-6900              |
| 27 | 日本眼科学会          | 101-8346 | 千代田区神田猿楽町 2-4-11-402                      | 03-3295-2360              |
| 28 | 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会  | 108-0074 | 港区高輪 3-25-22                              | 03-3443-3085 ~ 6          |
| 29 | 日本皮膚科学会         | 113-0033 | 文京区本郷 4-1-4                               | 03-3811-5099              |
| 30 | 日本泌尿器科学会        | 113-0034 | 文京区湯島 2-17-15 斉藤ビル 5F                     | 03-3814-7921              |
| 31 | 日本口腔科学会         | 135-0033 | 江東区深川 2-4-11<br>一ツ橋印刷(株) 学会事務センター内        | 03-5620-1953              |
| 32 | 日本医学放射線学会       | 113-0033 | 文京区本郷 5-1-16 VORT 本郷 7F                   | 03-3814-3077              |
| 33 | 日本保険医学会         | 100-0005 | 千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 3F<br>生命保険協会内         | 03-3286-2673              |
| 34 | 日本医療機器学会        | 113-0033 | 文京区本郷 3-39-15 医科器械会館 4F                   | 03-3813-1062              |
| 35 | 日本ハンセン病学会       | 189-0002 | 東村山市青葉町 4-1-13                            | 090-8747-1851             |
| 36 | 日本公衆衛生学会        | 160-0022 | 新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル内                        | 03-3352-4338              |
| 37 | 日本衛生動物学会        | 321-0293 | 下都賀郡壬生町北小林 880<br>獨協医科大学熱帯病寄生虫病学講座内       | 0282-87-2134              |
| 38 | 日本交通医学会         | 105-0004 | 港区新橋 6-7-9 新橋アイランドビル 3F<br>公益総研(株)事務センター内 | 03-5405-1816              |
| 39 | 日本体力医学会         | 112-0012 | 文京区大塚 5-3-13 4F<br>一般社団法人 学会支援機構内         | 03-5981-6015              |
| 40 | 日本産業衛生学会        | 160-0022 | 新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル内                        | 03-3356-1536              |
| 41 | 日本気管食道科学会       | 160-0004 | 新宿区四谷 1-11 陽臨堂ビル 2F                       | 03-6388-9179              |
| 42 | 日本アレルギー学会       | 110-0005 | 台東区上野 1-13-3 MY ビル 4F                     | 03-5807-1701              |
| 43 | 日本化学療法学会        | 113-0033 | 文京区本郷 3-28-8 日内会館 B1                      | 03-5842-5533              |
| 44 | 日本ウイルス学会        | 112-0002 | 文京区小石川 4-13-18<br>(株)微生物科学機構内             | 03-6231-4030              |
| 45 | 日本麻酔科学会         | 650-0047 | 神戸市中央区港島南町 1-5-2<br>神戸キメックセンタービル 3F       | 078-306-5945              |
| 46 | 日本胸部外科学会        | 112-0004 | 文京区後楽 2-3-27 テラル後楽ビル 1F                   | 03-3812-4253              |
| 47 | 日本脳神経外科学会       | 113-0033 | 文京区本郷 5-25-16 石川ビル 4F                     | 03-3812-6226              |
| 48 | 日本輸血・細胞治療学会     | 113-0033 | 文京区本郷 2-14-14 ユニテビル 5F                    | 03-5804-2611              |
| 49 | 日本医真菌学会         | 169-0072 | 新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル<br>(株)春恒社 学会事業部内 | 03-5291-6231              |
| 50 | 日本農村医学会         | 100-6827 | 千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 27F                   | 03-3212-8005              |
| 51 | 日本糖尿病学会         | 112-0002 | 文京区小石川 2-22-2 和順ビル 2F                     | 03-3815-4364              |
| 52 | 日本矯正医学会         | 100-8977 | 千代田区霞が関 1-1-1<br>中央合同庁舎 6 号館 A 棟 14F      | 03-3580-4111<br>(内線 5636) |
| 53 | 日本神経学会          | 113-0034 | 文京区湯島 2-31-21 一丸ビル                        | 03-3815-1080              |
| 54 | 日本老年医学会         | 113-0034 | 文京区湯島 4-2-1 杏林ビル 702                      | 03-3814-8104              |

|    |                     |          |   |              |
|----|---------------------|----------|---|--------------|
| 55 | 日 本 人 類 遺 伝 学 会     | 100-0003 | 千代田区一ツ橋 1-1-1 バレスサイドビル<br>(株) 毎日学術フォーラム内                  | 03-6267-4550 |
| 56 | 日本リハビリテーション医学会      | 101-0047 | 千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル 2F                                | 03-5280-9700 |
| 57 | 日 本 呼 吸 器 学 会       | 113-0033 | 文京区本郷 3-28-8 日内会館 7F                                      | 03-5805-3553 |
| 58 | 日 本 腎 臓 学 会         | 113-0033 | 文京区本郷 3-28-8 日内会館 6F                                      | 03-5842-4131 |
| 59 | 日 本 リ ウ マ チ 学 会     | 105-0013 | 港区浜松町 2-9-6 浜松町エムプレスビル 3F                                 | 03-6435-9761 |
| 60 | 日 本 生 体 医 工 学 会     | 112-0012 | 文京区大塚 5-3-13 4F<br>一般社団法人 学会支援機構内                         | 03-5981-6013 |
| 61 | 日 本 先 天 異 常 学 会     | 612-8082 | 京都市伏見区両替町 2-348-302<br>アカデミック・スクエア(株)内                    | 075-468-8772 |
| 62 | 日 本 肝 臓 学 会         | 113-0033 | 文京区本郷 3-28-10 柏屋 2 ビル 5F                                  | 03-3812-1567 |
| 63 | 日 本 形 成 外 科 学 会     | 169-0072 | 新宿区大久保 2-4-12<br>新宿ラムダックスビル 9F                            | 03-5287-6773 |
| 64 | 日 本 熱 帯 医 学 会       | 852-8523 | 長崎市坂本 1-12-4<br>長崎大学熱帯医学研究所内                              | 095-819-7804 |
| 65 | 日 本 小 児 外 科 学 会     | 112-0012 | 文京区大塚 5-3-13 4F<br>一般社団法人 学会支援機構内                         | 03-5981-6019 |
| 66 | 日 本 脈 管 学 会         | 162-0822 | 新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 829                                 | 03-5946-8361 |
| 67 | 日本周産期・新生児医学会        | 162-0845 | 新宿区市谷本村町 2-30 (株)メジカルビュー社内                                | 03-5228-2074 |
| 68 | 日 本 人 工 臓 器 学 会     | 112-0012 | 文京区大塚 5-3-13 4F<br>一般社団法人 学会支援機構内                         | 03-5981-6011 |
| 69 | 日 本 免 疫 学 会         | 101-0024 | 千代田区神田和泉町 1-4-2<br>KUMAKI ビル 2F                           | 03-5809-2019 |
| 70 | 日 本 消 化 器 外 科 学 会   | 108-0073 | 港区三田 3-1-17 アクシオール三田 6F                                   | 03-5427-5500 |
| 71 | 日 本 臨 床 検 査 医 学 会   | 101-0052 | 千代田区神田小川町 2-2 UI ビル 2F                                    | 03-3295-0351 |
| 72 | 日 本 核 医 学 会         | 106-0031 | 港区西麻布 3-1-17 NISSHIN BLDG 3F<br>ブルーリッジ(株)内                | 03-5786-6815 |
| 73 | 日 本 生 殖 医 学 会       | 100-0014 | 千代田区永田町 2-17-17 アイオス永田町 517                               | 03-6205-7445 |
| 74 | 日 本 救 急 医 学 会       | 113-0033 | 文京区本郷 3-3-12 ケイズビルディング 3F                                 | 03-5840-9870 |
| 75 | 日 本 心 身 医 学 会       | 103-0026 | 中央区日本橋兜町 15-12 八重洲カトウビル 8F                                | 03-6661-9230 |
| 76 | 日本医療・病院管理学会         | 162-0801 | 新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター内                                   | 03-6824-9394 |
| 77 | 日 本 消 化 器 内 視 鏡 学 会 | 101-0062 | 千代田区神田駿河台 3-2-1<br>新御茶ノ水アーバントリニティビル 4F                    | 03-3525-4670 |
| 78 | 日 本 癌 治 療 学 会       | 101-0061 | 千代田区神田三崎町 3-3-1<br>TKi ビル 2F                              | 03-5542-0546 |
| 79 | 日 本 移 植 学 会         | 112-0012 | 文京区大塚 5-3-13 4F<br>一般社団法人 学会支援機構内                         | 03-5981-6011 |
| 80 | 日 本 職 業・災 害 医 学 会   | 211-8510 | 川崎市中原区木月住吉町 1-1<br>総合研修センター内                              | 044-430-5236 |
| 81 | 日本心臓血管外科学会          | 113-0033 | 文京区本郷 3-9-11 平原ビル 2F 202 号室                               | 03-5842-2301 |
| 82 | 日本リンパ網内系学会          | 700-8558 | 岡山市北区鹿田町 2-5-1<br>総合教育研究棟 7F<br>岡山大学学術研究院保健学域<br>分子血液病理学内 | 086-235-7424 |
| 83 | 日 本 自 律 神 経 学 会     | 169-0072 | 新宿区大久保 2-4-12<br>新宿ラムダックスビル (株)春恒社内                       | 03-5291-6231 |
| 84 | 日本大腸肛門病学会           | 108-0074 | 港区高輪 3-20-9   | 03-6277-2340 |
| 85 | 日 本 超 音 波 医 学 会     | 101-0063 | 千代田区神田淡路町 2-23-1<br>お茶の水センタービル 6F                         | 03-6380-3711 |
| 86 | 日 本 動 脈 硬 化 学 会     | 113-0033 | 文京区本郷 3-28-8 日内会館 B1                                      | 03-5802-7711 |

|     |                |          |   |                                 |
|-----|----------------|----------|---|---------------------------------|
| 87  | 日本東洋医学会        | 105-0022 | 港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル 6F                              | 03-5733-5060                    |
| 88  | 日本小児神経学会       | 162-0055 | 新宿区余丁町 8-16 ネオメディトピア 4F                             | 03-3351-4125                    |
| 89  | 日本呼吸器外科学会      | 604-0835 | 京都市中京区御池通高倉西入高宮町 200<br>千代田生命京都御池ビル 3F              | 075-254-0545                    |
| 90  | 日本医学教育学会       | 112-0012 | 文京区大塚 5-3-13 4F<br>一般社団法人 学会支援機構内                   | 03-5981-6011                    |
| 91  | 日本医療情報学会       | 113-0033 | 文京区本郷 2-17-17 井門本郷ビル 2F                             | 03-3812-1702                    |
| 92  | 日本疫学会          | 113-0033 | 文京区本郷 7-2-2 本郷 MT ビル 4F                             | 03-5684-5556                    |
| 93  | 日本集中治療医学会      | 113-0033 | 文京区本郷 2-15-13 お茶の水ウイングビル 10F                        | 03-3815-0589                    |
| 94  | 日本平滑筋学会        | 983-8536 | 仙台市宮城野区福室 1-15-1<br>東北医科薬科大学・消化器外科内                 | 022-259-8762                    |
| 95  | 日本臨床薬理学会       | 113-0032 | 文京区弥生 2-4-16 学会センタービル内                              | 0120-664-060                    |
| 96  | 日本神経病理学会       | 169-0072 | 新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル<br>(株)春恒社 学会事業部内           | 03-5291-6231                    |
| 97  | 日本脳卒中学会        | 101-0044 | 千代田区鍛冶町 1-10-4 丸石ビルディング 4F                          | 03-3251-6800                    |
| 98  | 日本高血圧学会        | 113-0033 | 文京区本郷 3-28-8 日内会館 2F                                | 03-6801-9786                    |
| 99  | 日本臨床細胞学会       | 101-0062 | 千代田区神田駿河台 2-11-1<br>駿河台サンライズビル 3F                   | 03-5577-4680<br>(11:00 ~ 16:00) |
| 100 | 日本透析医学会        | 113-0033 | 文京区本郷 2-38-21 アラミドビル 2F                             | 03-5800-0786                    |
| 101 | 日本内視鏡外科学会      | 100-0013 | 千代田区霞が関 1-4-2<br>大同生命霞が関ビル 日本コンベンション<br>サービス(株)内    | 03-3503-5917                    |
| 102 | 日本乳癌学会         | 103-0027 | 中央区日本橋 3-8-16 ぶよおビル 3F                              | 03-5542-1555                    |
| 103 | 日本肥満学会         | 541-0056 | 大阪市中央区久太郎町 2-1-25<br>JTB ビル 6F (株)JTB 西日本 MICE 事業部内 | 06-6210-5385                    |
| 104 | 日本血栓止血学会       | 112-0013 | 文京区音羽 1-15-12 アルス音羽 707 号室                          | 03-6912-2895                    |
| 105 | 日本血管外科学会       | 112-0004 | 文京区後楽 2-3-27 テラル後楽ビル 1F<br>公益財団法人 日本心臓財団内           | 03-6801-6220                    |
| 106 | 日本レーザー医学会      | 113-0033 | 文京区本郷 3-35-4 不二光学ビル 3F<br>(株)コンパス内                  | 03-5840-6131                    |
| 107 | 日本臨床腫瘍学会       | 105-0013 | 港区浜松町 2-1-15 芝パークビル 6F                              | 03-6809-1250                    |
| 108 | 日本呼吸器内視鏡学会     | 102-0073 | 千代田区九段北 4-2-1<br>市ヶ谷スクエアレジデンス 1005 号                | 03-3238-3011                    |
| 109 | 日本プライマリ・ケア連合学会 | 100-0005 | 千代田区丸の内 2-2-1 岸本ビルヂング 6F                            | 03-6368-5909                    |
| 110 | 日本手外科学会        | 108-0073 | 港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8F<br>(株)アイ・エス・エス内            | 03-6369-9985                    |
| 111 | 日本脊椎脊髄病学会      | 100-0003 | 千代田区一ツ橋 1-1-1 バレスサイドビル<br>(株)毎日学術フォーラム内             | 03-6267-4550                    |
| 112 | 日本緩和医療学会       | 550-0001 | 大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 603B号室                          | 06-6479-1031                    |
| 113 | 日本放射線腫瘍学会      | 104-0031 | 中央区京橋 1-4-14 TOKI ビル 5F                             | 03-3527-9971                    |
| 114 | 日本臨床スポーツ医学会    | 104-0041 | 中央区新富 2-4-14 新富田所ビル 4F<br>一般社団法人 会議支援センター内          | 03-6222-9874                    |
| 115 | 日本熱傷学会         | 169-0072 | 新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル<br>(株)春恒社 学会事業部内           | 03-5291-6246                    |
| 116 | 日本小児循環器学会      | 162-0801 | 新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター内                             | 03-6824-9380                    |
| 117 | 日本睡眠学会         | 102-0075 | 千代田区三番町 2 三番町 KS ビル<br>(株)コンベンションリンクージ内             | 03-3263-8697                    |
| 118 | 日本磁気共鳴医学会      | 105-0012 | 港区芝大門 2-12-8<br>浜松町矢崎ホワイトビル 2F                      | 03-6721-5388                    |
| 119 | 日本肺癌学会         | 103-0027 | 中央区日本橋 3-8-16 ぶよおビル 4F                              | 03-6225-2776                    |

|     |                          |          |   |              |
|-----|--------------------------|----------|---|--------------|
| 120 | 日本胃癌学会                   | 602-0841 | 京都市上京区河原町通広小路ル梶井町 465<br>京都府立医科大学消化器外科内       | 075-241-6227 |
| 121 | 日本造血・免疫細胞療学会             | 451-0042 | 名古屋市西区那古町 2-23-21-7d 号                        | 052-766-7127 |
| 122 | 日本ペインクリニック学会             | 101-0062 | 千代田区神田駿河台 1-8-11<br>東京 YWC A 会館 210 号室        | 03-5282-8808 |
| 123 | 日本病態栄養学会                 | 160-0004 | 新宿区四谷 3-13-11 栄ビル 5F                          | 03-5363-2361 |
| 124 | 日本認知症学会                  | 169-0072 | 新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル<br>(株) 春恒社 学会事業部内    | 03-5291-6231 |
| 125 | 日本災害医学会                  | 162-0801 | 新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター内                       | 03-6824-9396 |
| 126 | 日本小児血液・がん学会              | 112-0012 | 文京区大塚 5-3-13 4F<br>一般社団法人 学会支援機構内             | 03-5981-6011 |
| 127 | 日本老年精神医学会                | 162-0825 | 新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル 2F                         | 03-5206-7434 |
| 128 | 日本臨床栄養代謝学会               | 103-0022 | 中央区日本橋室町 4-4-3 喜助日本橋室町ビル 4F                   | 03-6263-2580 |
| 129 | 日本再生医療学会                 | 103-0023 | 中央区日本橋本町 2-3-11<br>日本橋ライフサイエンスビルディング          | 03-6262-3028 |
| 130 | 日本脳神経血管内治療学会             | 160-0016 | 新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館<br>(一財) 国際医学情報センター内          | 03-5361-7555 |
| 131 | 日本骨粗鬆症学会                 | 100-0003 | 千代田区一ツ橋 1-1-1<br>パレスサイドビル (株) 毎日学術フォーラム内      | 03-6267-4550 |
| 132 | 日本アフエレス学会                | 169-0072 | 新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 9F<br>(株) 春恒社 学会事業部内 | 03-5291-6231 |
| 133 | 日本女性医学学会                 | 103-0027 | 中央区日本橋 3-10-5<br>オンワードパークビルディング(株)コングレ内       | 03-3510-3743 |
| 134 | 日本てんかん学会                 | 187-0031 | 小平市小川東町 4-6-15                                | 042-345-2522 |
| 135 | 日本インターベンショナル<br>ラジオロジー学会 | 355-0063 | 東松山市元宿 1-18-4                                 | 0493-35-4250 |
| 136 | 日本内分泌外科学会                | 112-0012 | 文京区大塚 5-3-13 4F<br>一般社団法人 学術支援機構内             | 03-5981-6011 |
| 137 | 日本骨代謝学会                  | 612-8082 | 京都市伏見区両替町 2-348-302<br>アカデミック・スクエア(株)内        | 075-468-8772 |
| 138 | 日本婦人科腫瘍学会                | 102-0083 | 千代田区麹町 4-7 麹町パークサイドビル 402                     | 03-3288-1033 |
| 139 | 日本肝胆膵外科学会                | 162-0065 | 新宿区住吉町 1-15 四ッ谷 TT ビル 3F                      | 03-6380-4341 |
| 140 | 日本臨床神経生理学会               | 102-0075 | 千代田区三番町 2 三番町 KS ビル<br>(株) コンベンションリンクージ内      | 03-3263-8697 |
| 141 | 日本食道学会                   | 130-0012 | 墨田区大平 2-3-13 廣瀬ビルディング 4F                      | 03-6456-1339 |
| 142 | 日本国際保健医療学会               | 162-8655 | 新宿区戸山 1-21-1<br>国立国際医療研究センター国際医療協力局内          |              |